

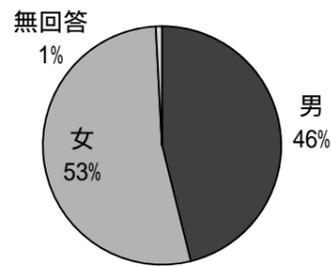
# 住宅・住環境に関する市民アンケート調査 まとめ

配布数：3,000 通、総回答数：1,058 通、回収率 35%

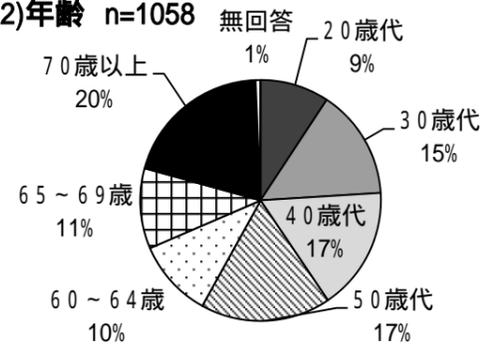
## あなたの属性、家族構成などについて

- 男女とも約 5 割、各年代とも 1~2 割から回答を得ている。家族の人数構成、世帯収入の面からも、バランスの良い回答が得られた。
- 高齢者を含む家族は 46%、15 歳未満のいる家族からの回答は 25%を占めている。
- 最寄りのバス停、駅までの所要時間が 10 分未満が 8 割を占めているが、自家用車を持たない回答者はわずか 6%だった。

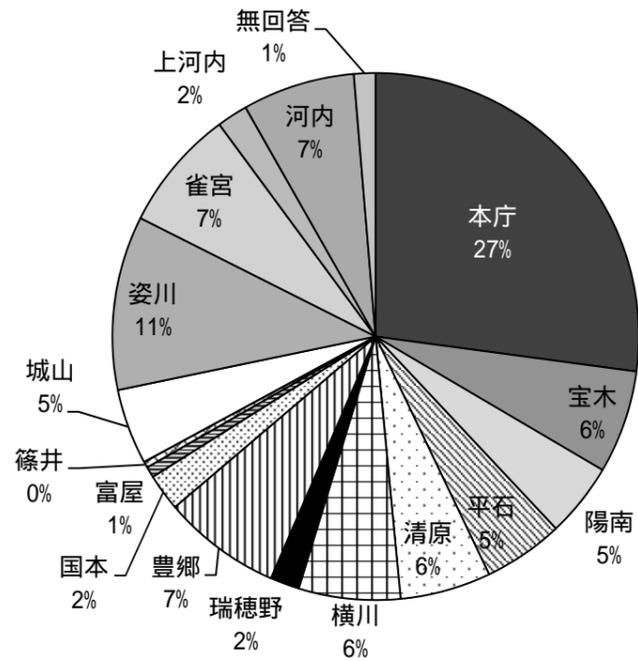
(1)性別 n=1058



(2)年齢 n=1058

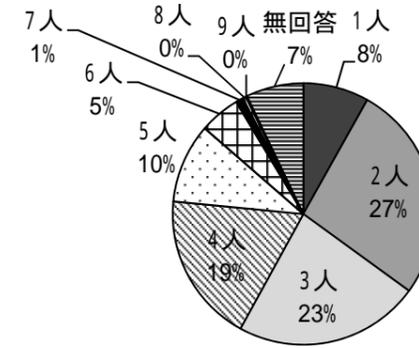


(3)住居 n=1058

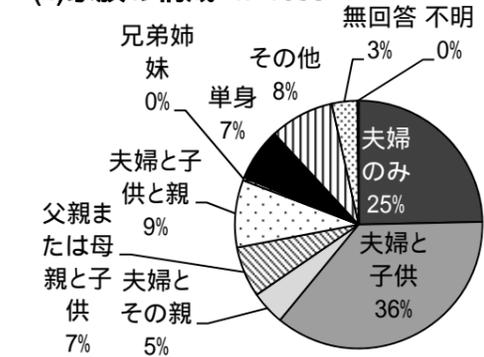


本庁	287
宝木	67
陽南	48
平石	52
清原	59
横川	66
瑞穂野	19
豊郷	77
国本	24
富屋	7
篠井	4
城山	49
姿川	113
雀宮	79
上河内	20
河内	73
無回答	14
合計	1058

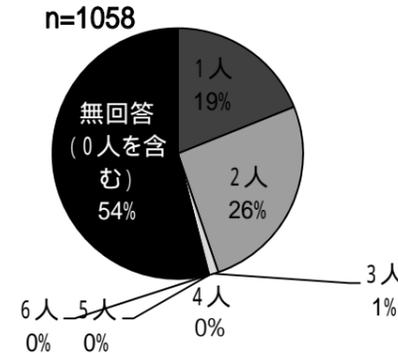
(4)同居人数と構成 n=1058



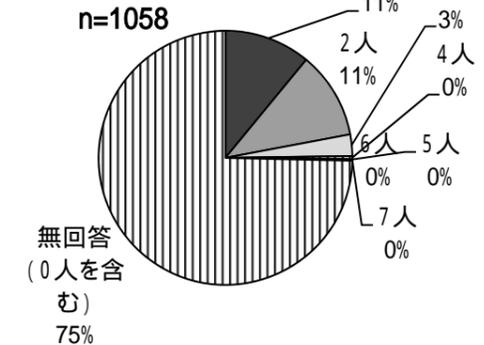
(4)家族の構成 n=1058



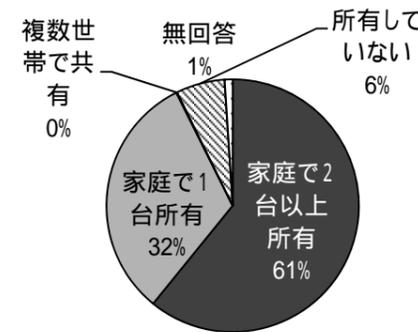
(4)家族のうち65歳以上の人数 n=1058



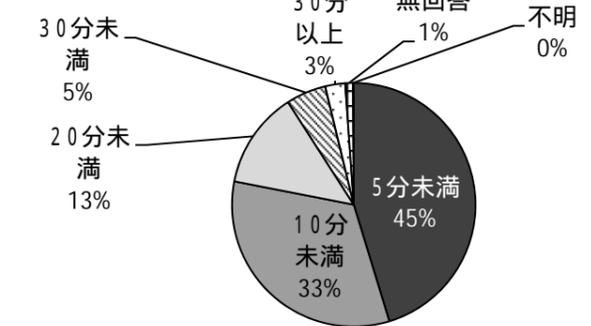
(4)家族のうち15歳未満の人数 n=1058



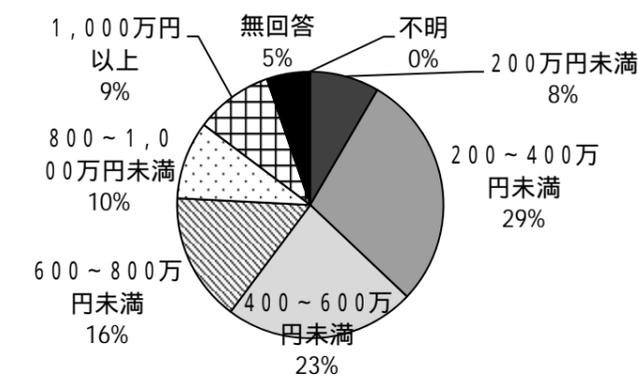
(5)自家用車の所有状況 n=1058



(6)最寄りのバス停か駅までの徒歩での所要時間 n=1058



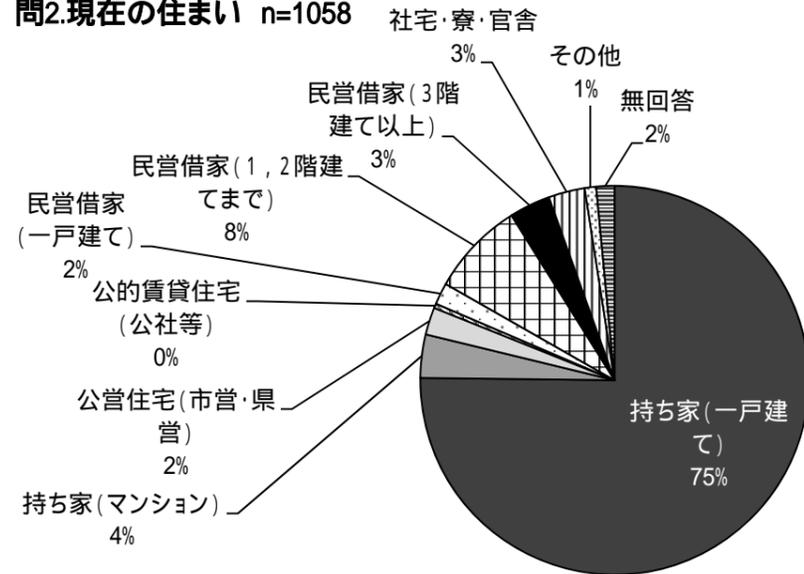
(7)同居家族全員の年収合計 n=1058



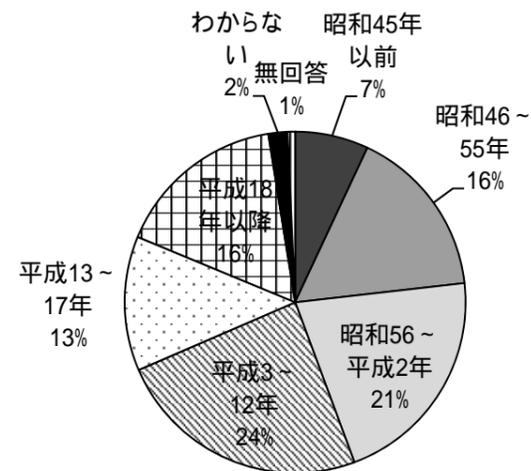
・現在のお住まいについて

- 持ち家（一戸建て・マンション）が79%を占めている（問2）。
- 住宅のリフォームを31%の方が経験されている（問2-2）。その理由は、「住宅や設備が古いから」「住宅が狭い又は間取りが悪い」「子供の成長や誕生、親との同居など家族増加のため」となっている（問2-3）。リフォームの内容としては、「耐久性の向上、長寿命化」「バリアフリー工事」「高効率給湯器や省エネルギー機器の導入」など（問2-4）。
- 賃貸住宅に住む主な理由として、「持ち家を取得したいが資金不足」「家族の変化に合わせて自由に住み替えられる」「今は持ち家は必要ない」が多数（問2-5）

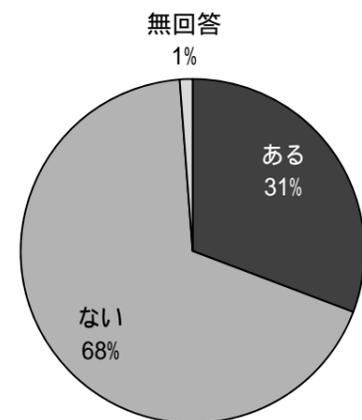
問2.現在の住まい n=1058



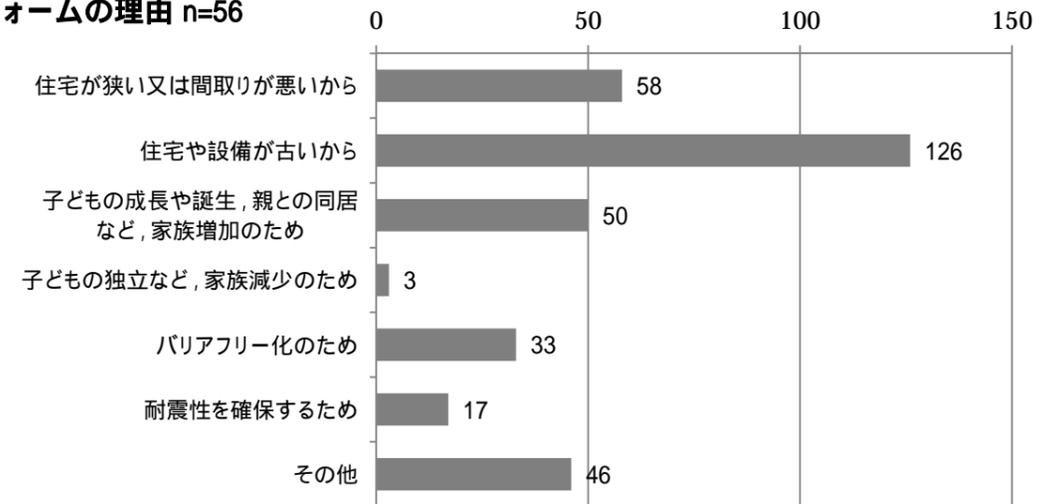
問2-1.住まいの建築年代 n=1058



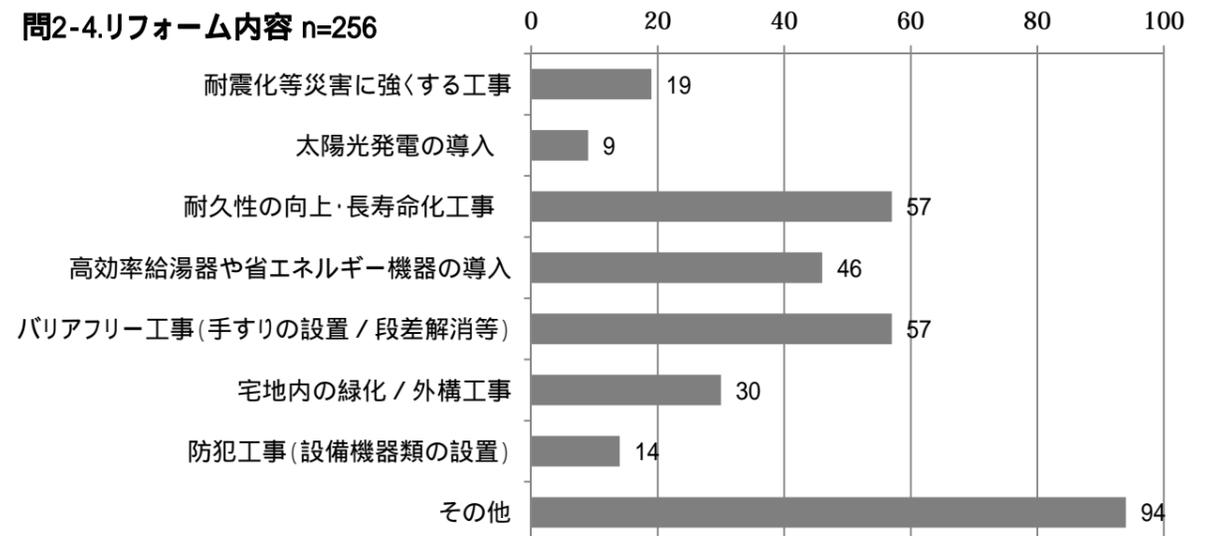
問2-2.現在の住まいのリフォーム経験 n=1058



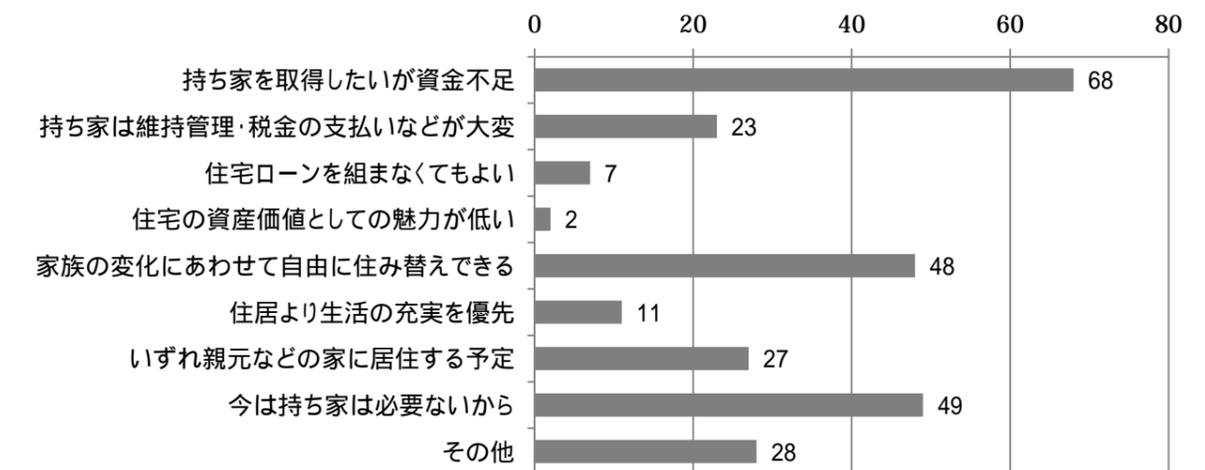
問2-3.リフォームの理由 n=56



問2-4.リフォーム内容 n=256



問2-5.賃貸住宅にお住まいの理由 n=198

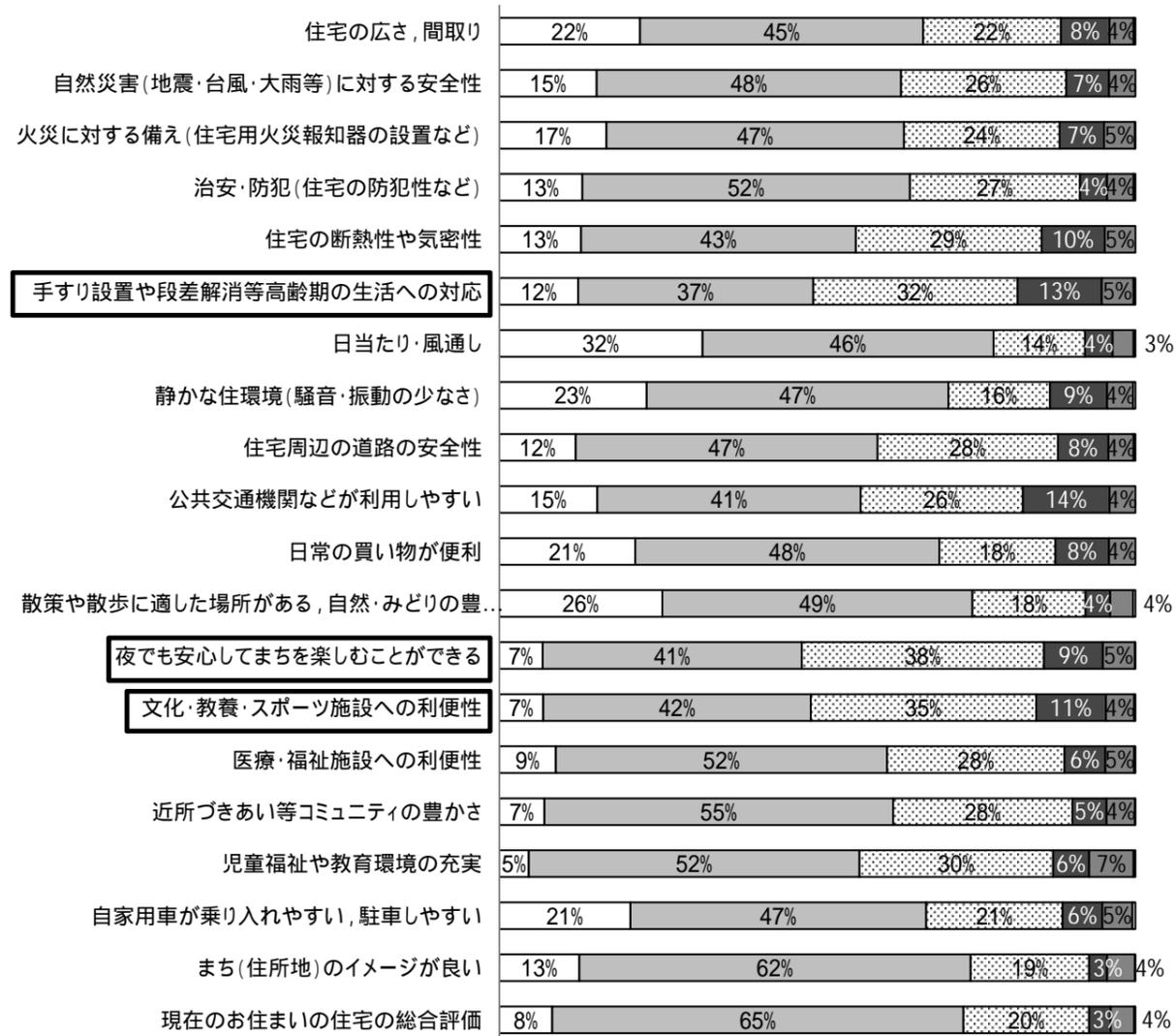


### 問3.現在の住宅への満足度

- 全体では、「住まいの総合評価」は7割超で満足・ほぼ満足と回答。
- 「手すり設置や段差解消等高齢期生活への対応」「夜でも安心してまちを楽しむことができる」などの項目では、満足・ほぼ満足が5割を切っている。
- 公共交通機関の利便性については14%の方が「不満」、高齢期生活対応については13%の方が「不満」と答えている。

#### 住まいの満足度 n=1058

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無回答 □不明

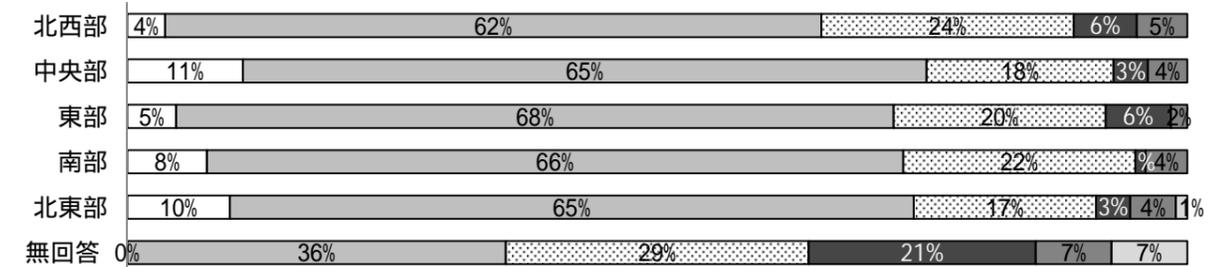


### 地域別・地区別(H19年調査との比較)

- 満足・ほぼ満足の合計は全ての地区で上がっているが、「満足」に限るとすべての地区において半減。特に東部地域は-14pts 落としている。
- 「不満」は全体的に微減の中、南部地域は-10pts と大きく改善が見られた。
- H19に無回答だった層が今回は大きく減少し、全体に振り分けられている。

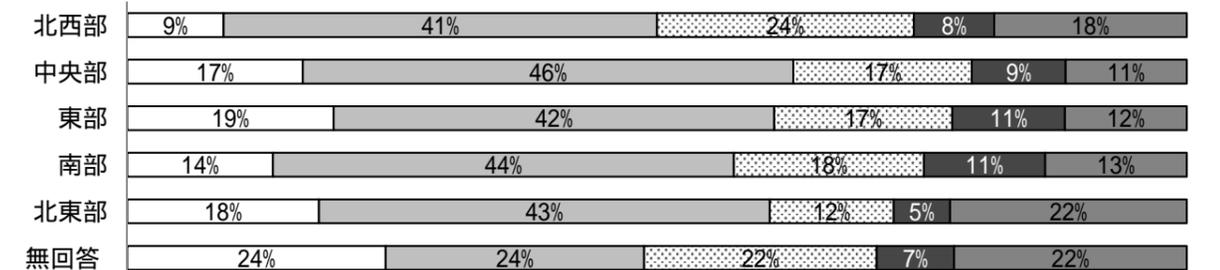
#### 【地域別】住まいの総合評価(H24) n=1058

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無回答 □無効



#### 【地域別】住まいの総合評価(H19) n=926

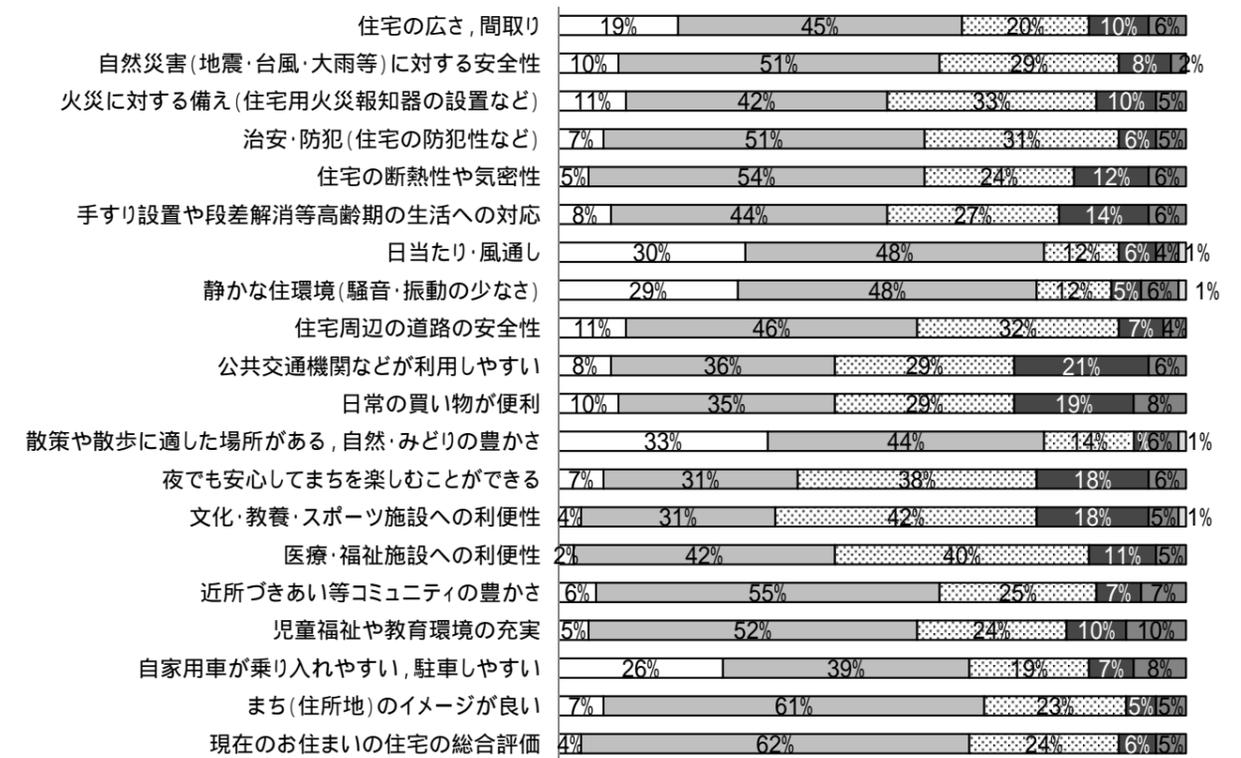
□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無回答 □無効



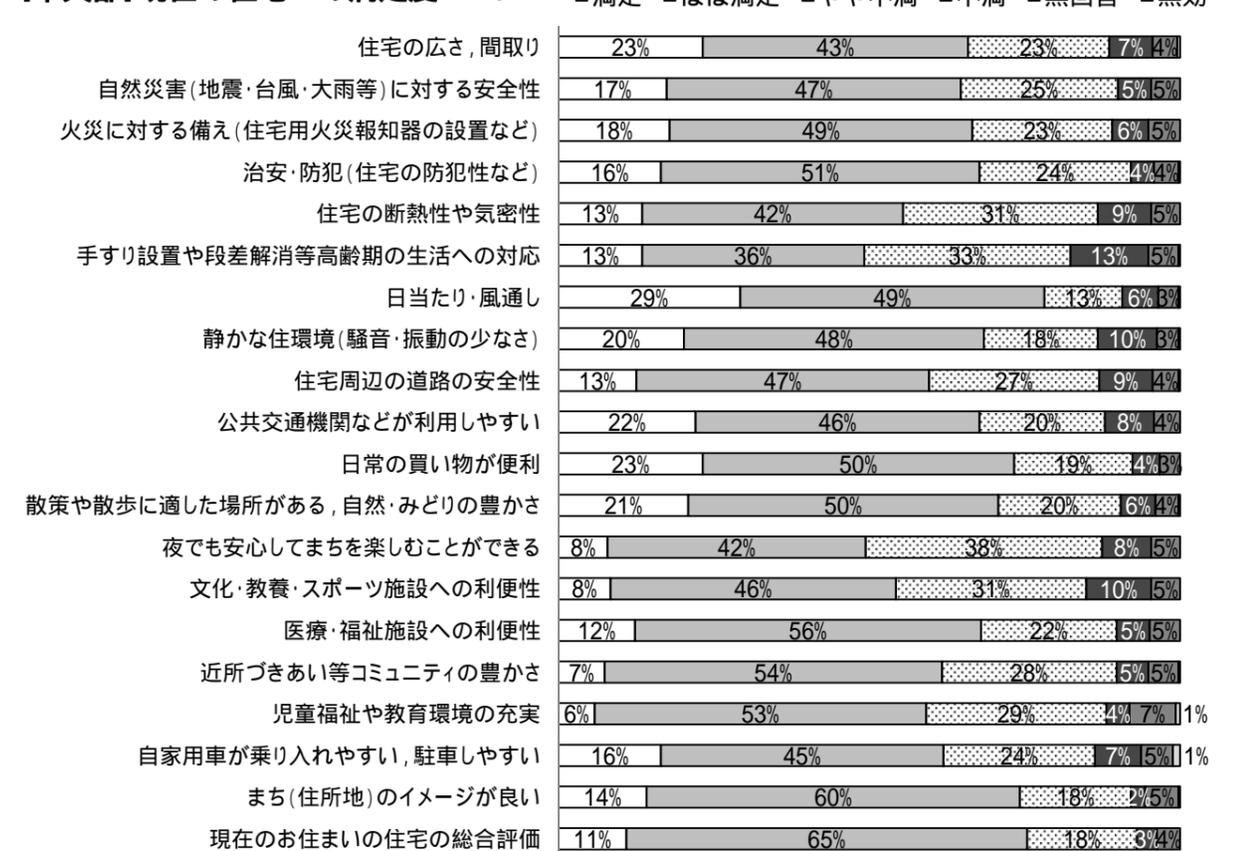
5 地域別に見た住まいの満足度



【北西部】現在の住宅への満足度 n=84

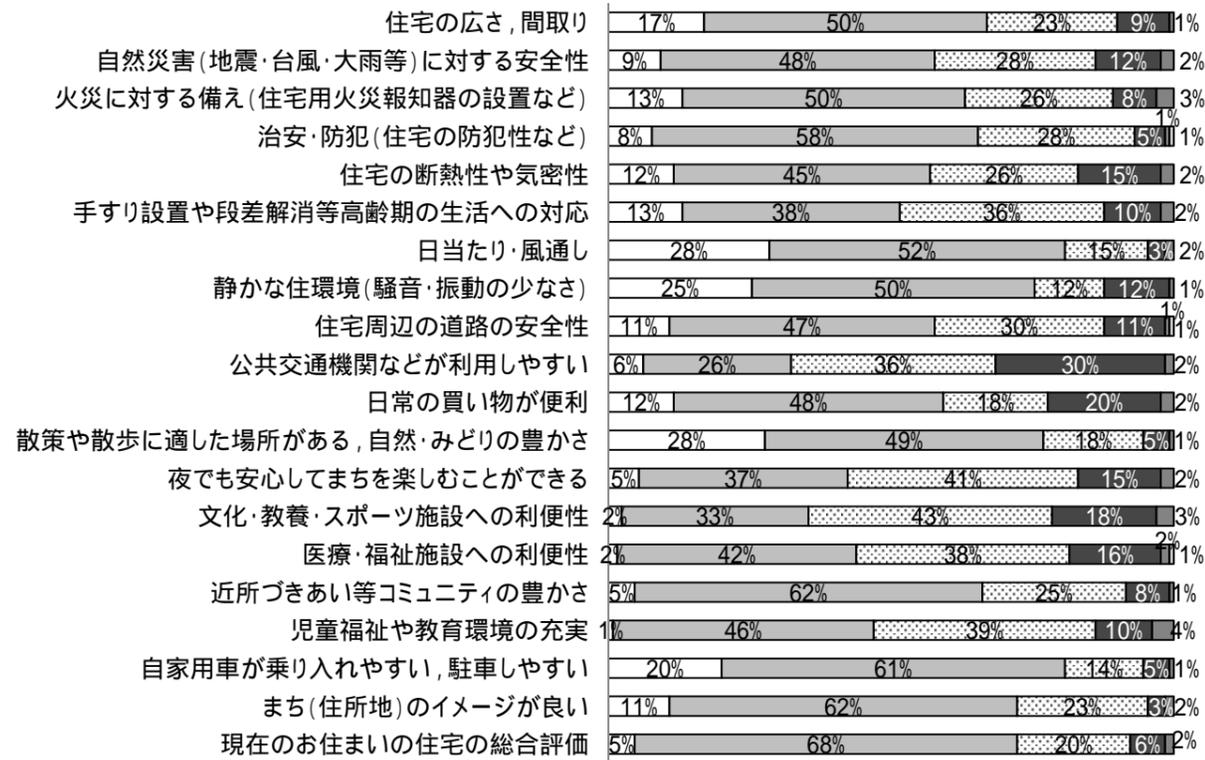


【中央部】現在の住宅への満足度 n=431



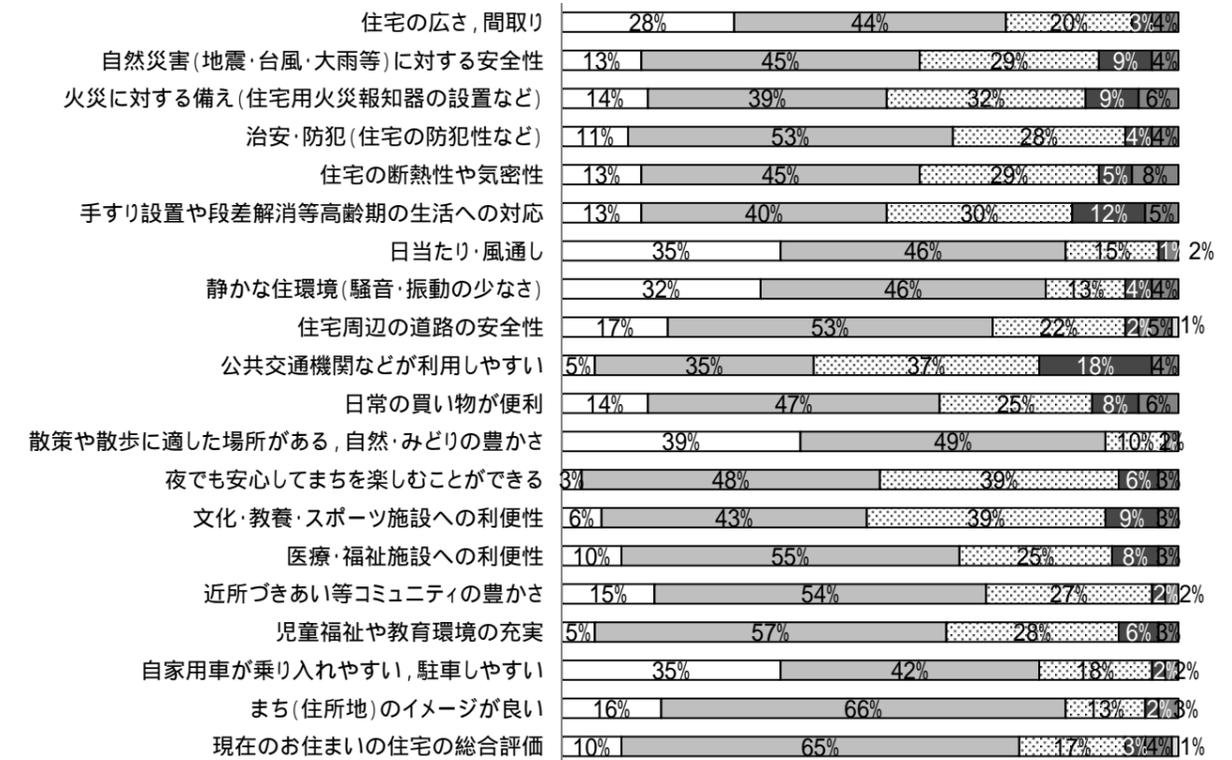
【東部】現在の住宅への満足度 n=130

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無回答 □無効



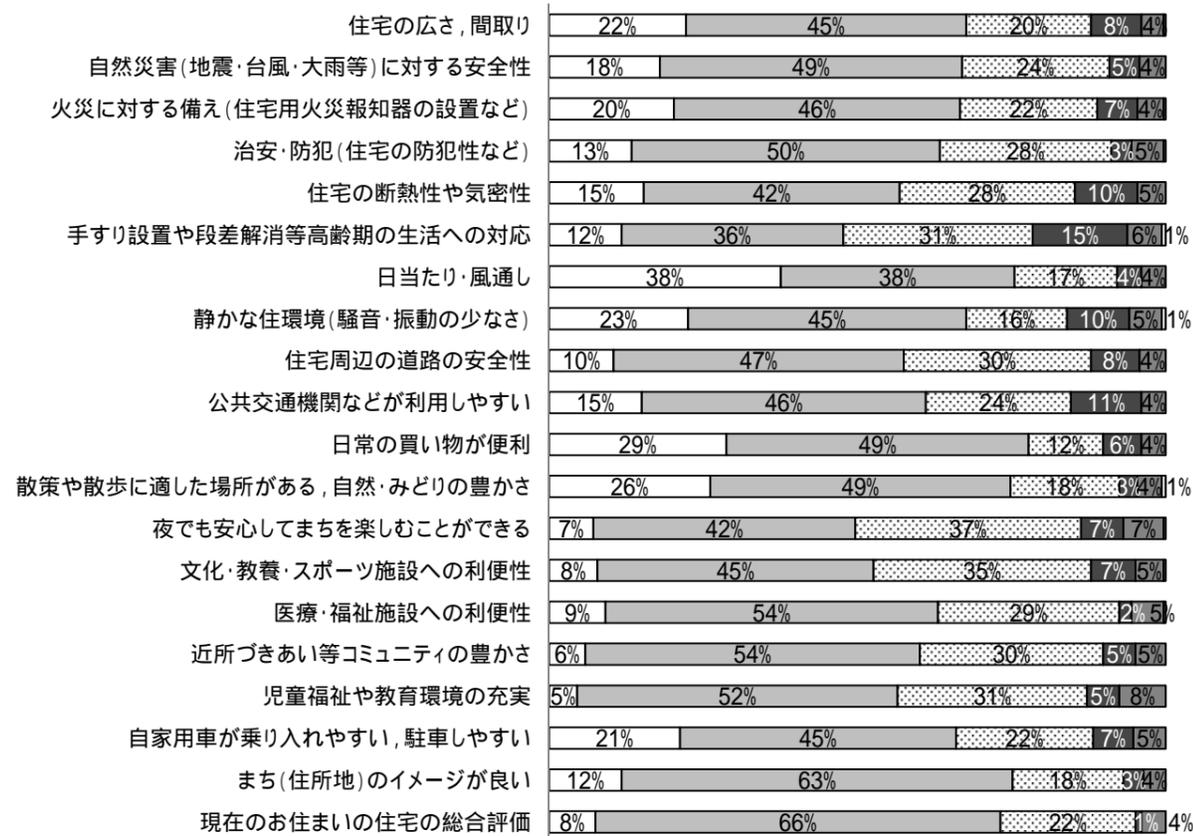
【北東部】現在の住宅への満足度 n=93

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無回答 □無効



【南部】現在の住宅への満足度 n=306

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無回答 □無効

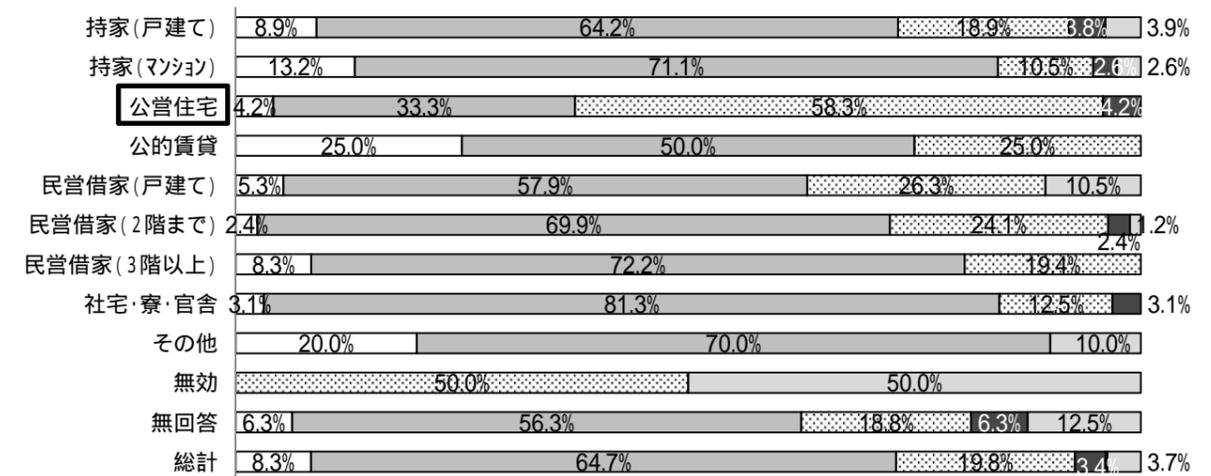


【現在の住宅タイプから見た満足度】

- 「公営住宅」では、「満足」・「ほぼ満足」と答えた方の割合が4割を切っている。
- 「公営住宅」の満足度の内訳をみると、住宅の評価項目の半数近くの項目において、「満足」「ほぼ満足」と答えた方の割合が5割を切っている。また、全体の住まいの満足度(p.5)と比較して、満足度が低く不満の割合が大きい項目もある(グラフ中 印の項目)。

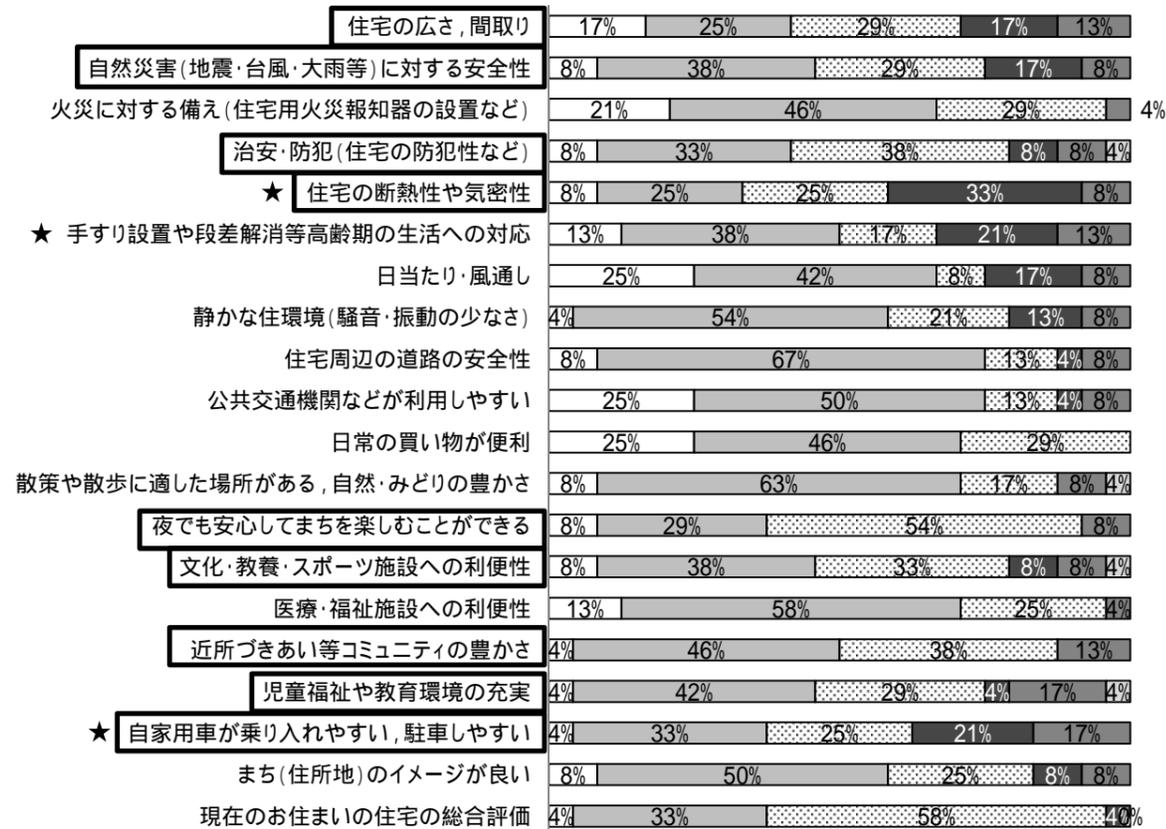
【住宅タイプ別】住まいの総合評価 n=1058

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無効 □無回答



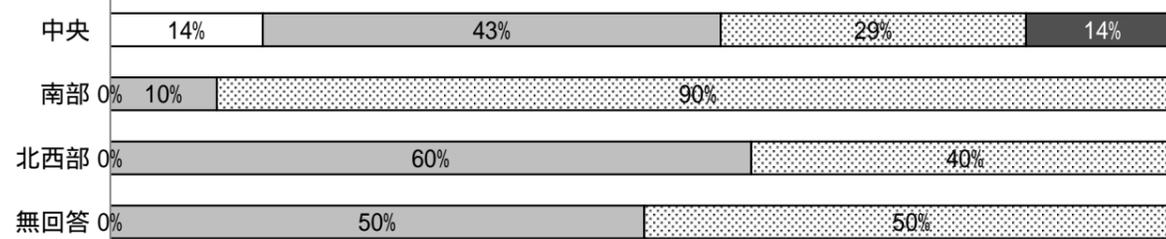
【公営住宅】現在の住宅への満足度 n=24

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無回答 □無効



【公営住宅】地域別 住宅への総合評価 n=24

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満



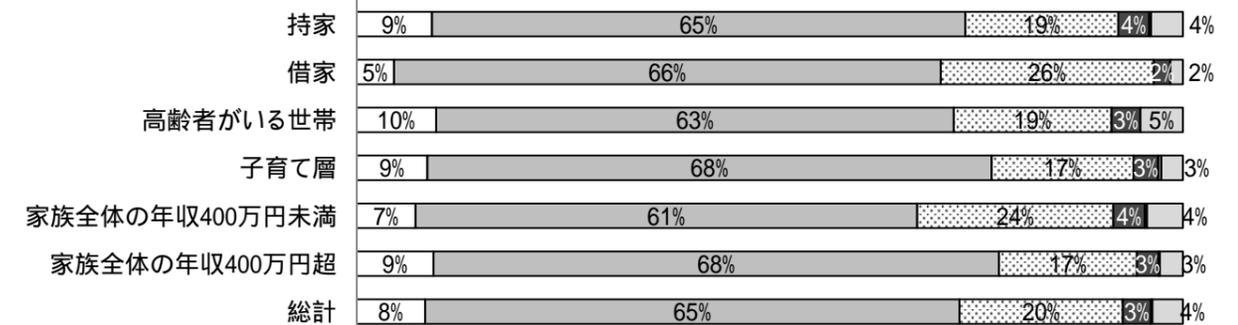
データの個数 / No	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	総計
中央	1	3	2	1	7
南部		1	9		10
北西部		3	2		5
無回答		1	1		2
総計	1	8	14	1	24

【住戸、世帯、年収と住環境の満足度(平成 19 年調査との比較)】

- H19 年に比べ、「満足」は半減したが、「借家」「子育て層」「年収 400 万円未満」の「不満」・「やや不満」の割合が、大きく減少している。「借家」「年収 400 万円未満」については、-11pts 減少した。

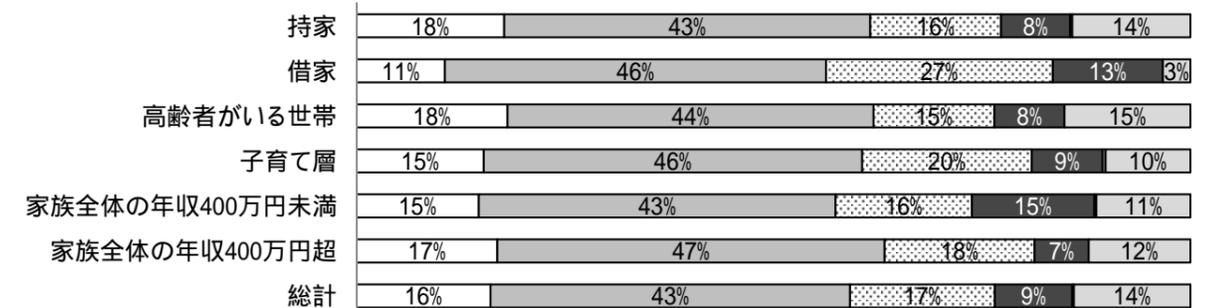
【住宅タイプ、世帯、年収別】住まいの総合評価(H24) n=1058

□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無効 □無回答



【住宅タイプ、世帯、年収別】住まいの総合評価(H19) n=926

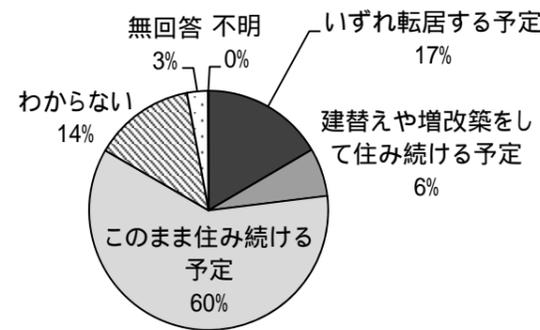
□満足 □ほぼ満足 □やや不満 ■不満 ■無効 □無回答



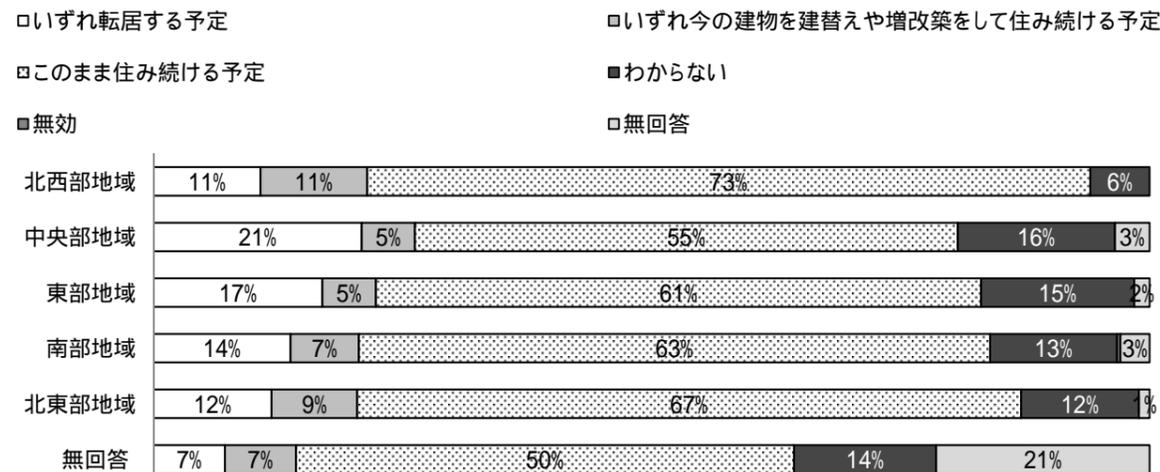
今後の住まいについて

- 住み続ける予定が66%であった(問4)。
- 中央部地域・東部地域では「いずれ転居する予定」の割合が、他地域に比べ大きい。その他の地域では、住み続ける予定が割合が7~8割。
- 街なかの本庁地区では、持ち家や公営住宅では7~8割が住み続ける意向がある。一方、借家は、6~10割がいずれ転居する意向あり。
- 転居予定の79%が、将来は持ち家に住むことを望んでいる(問4-2)
- 転居先を選ぶ際に重視することは、「周辺環境の良さ」、「買い物等の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」、「適度な家賃・費用」等であった(問4-3)
- 建替えや増改築を行うのであれば、「耐震化・災害に強い住宅」、「バリアフリー住宅」、「太陽光発電や太陽熱利用」、「省エネ設備の導入」等が望まれている(問4-5)
- 今後、宇都宮市が取り組むべき住宅の機能・性能の向上推進策として、災害に強い耐震改修・建替え促進、バリアフリー化促進、省エネ・環境配慮型住宅への改修・建替え促進に、特に力を入れるべきとの意見が多い(問5)。

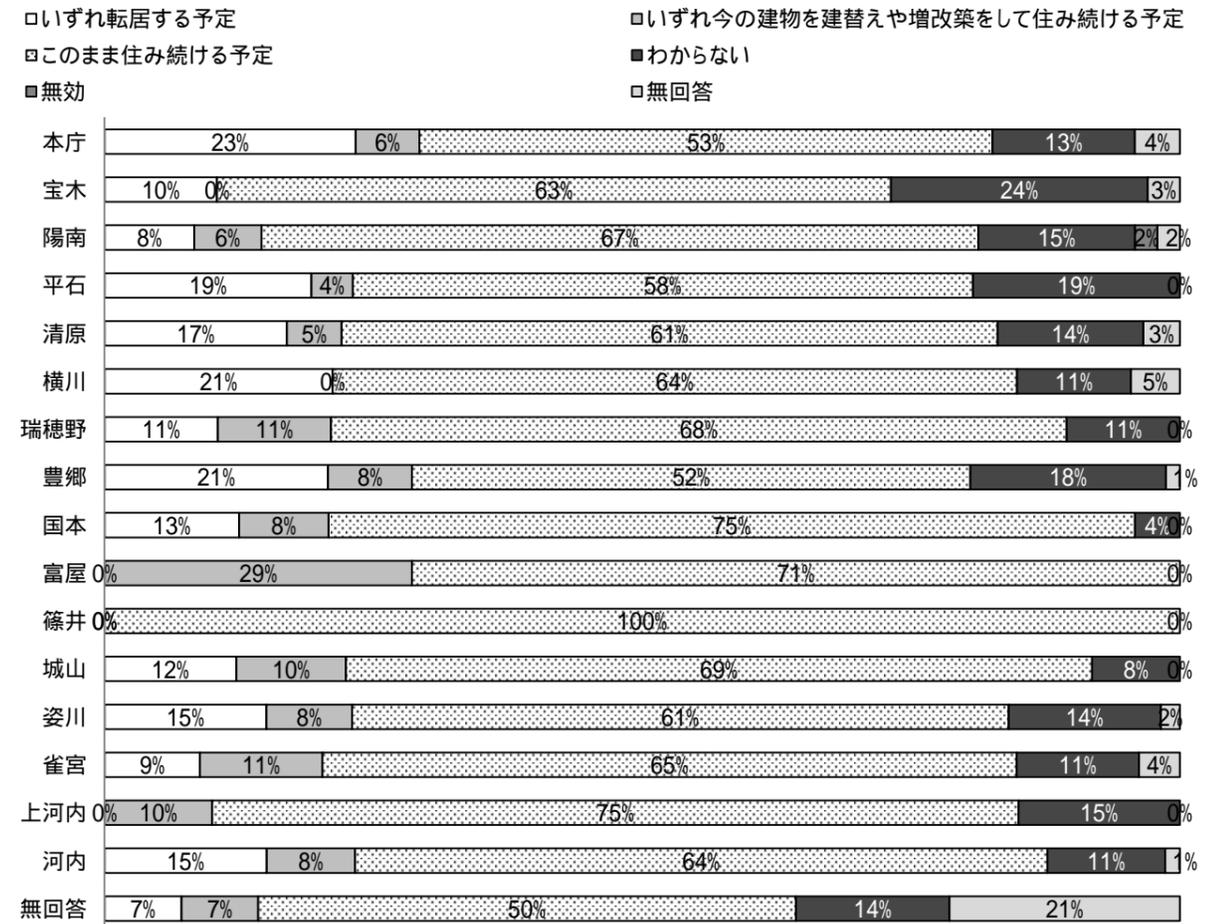
問4.今後も現在の住宅に引き続きお住まいになる予定ですか。n = 1058



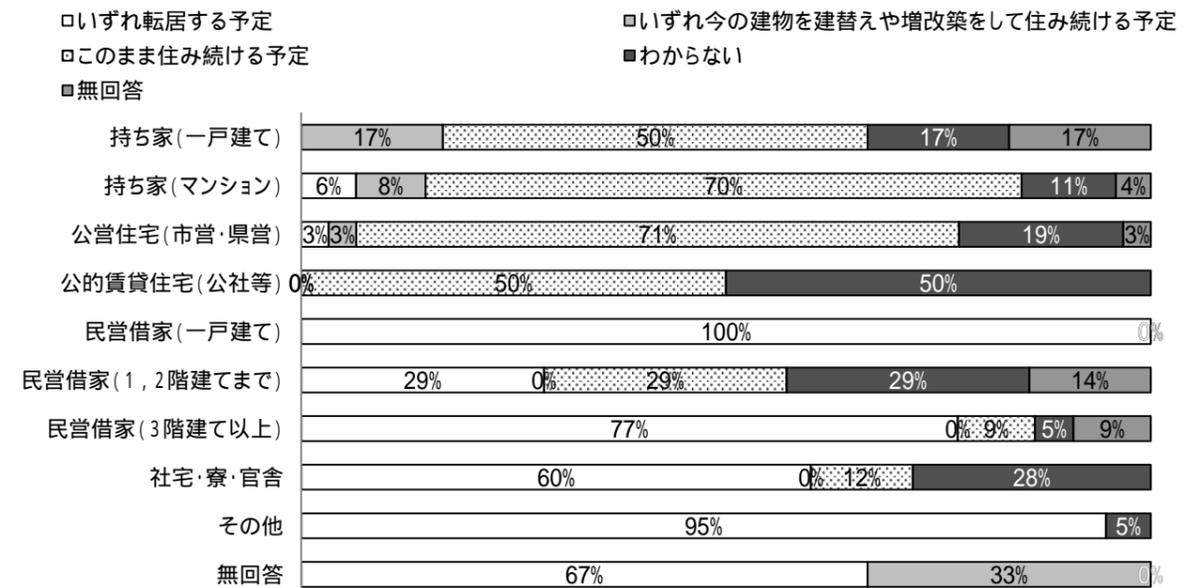
【地域別】今後住み続ける意向 n=1058



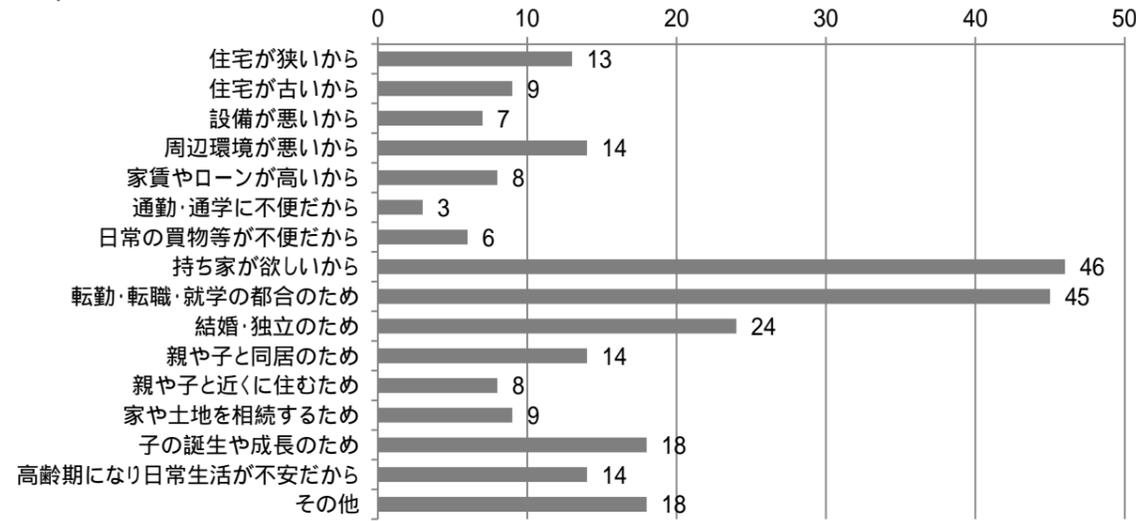
【地区別】今後住み続ける意向 n=1058



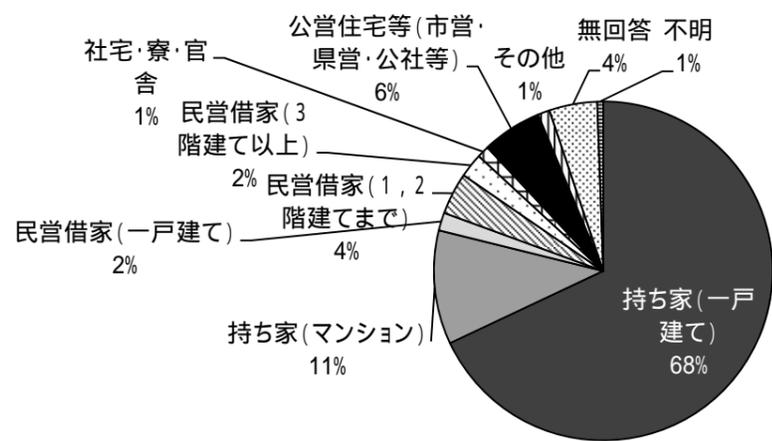
【本庁地区 / 住戸タイプ別】住み続ける意向 n=287



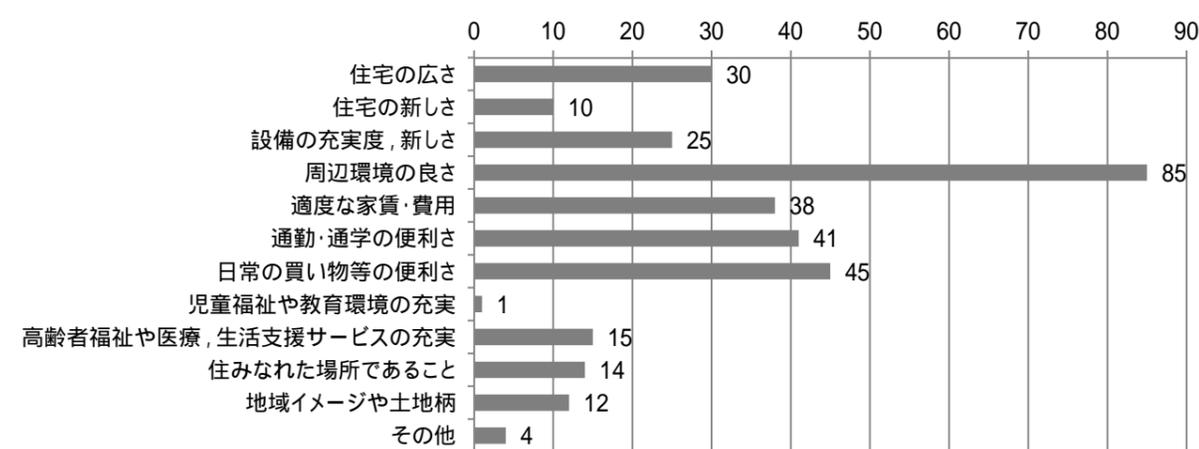
問4-1.「いずれ転居する予定」とお答えの方)その理由は何ですか。



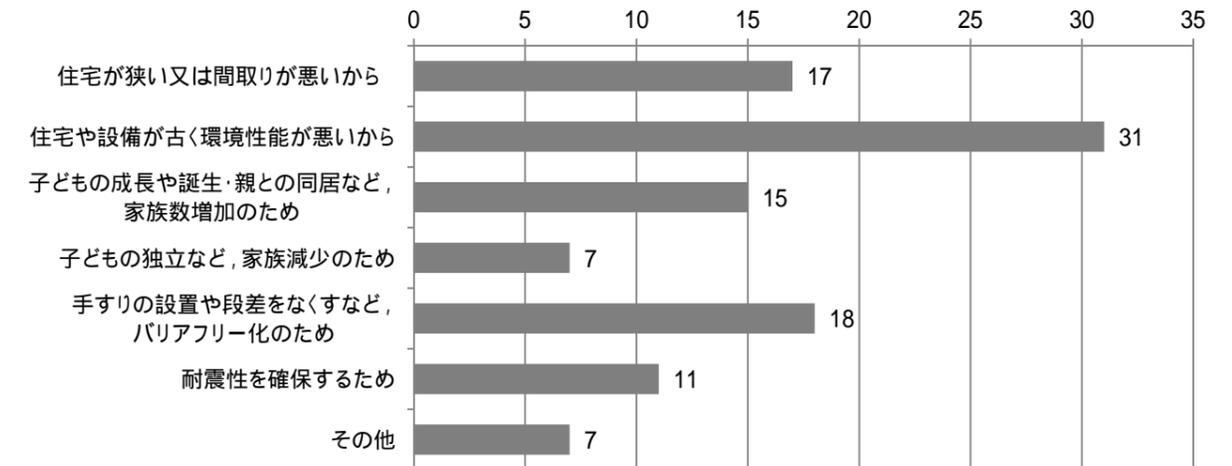
問4-2.将来はどのような住宅に住みたいですか。n=175



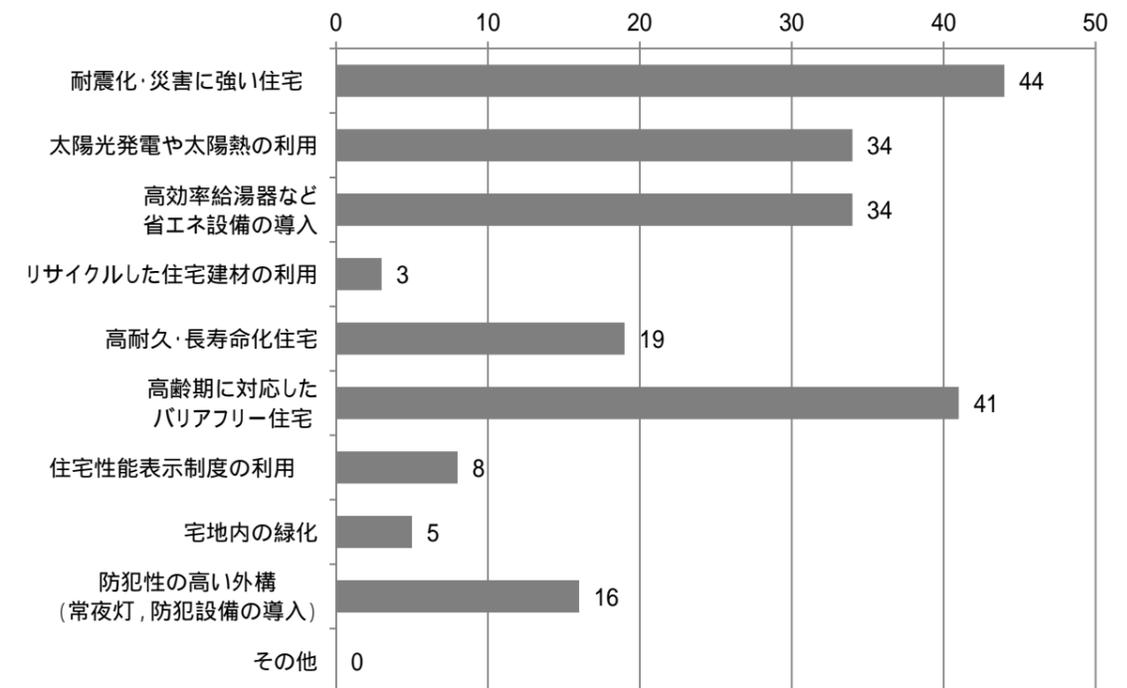
問4-3.転居先を選ぶ際に重視することは何ですか。(複数回答) n=175



問4-4.建替えや増改築を考えている理由は何ですか。(複数回答) n=69

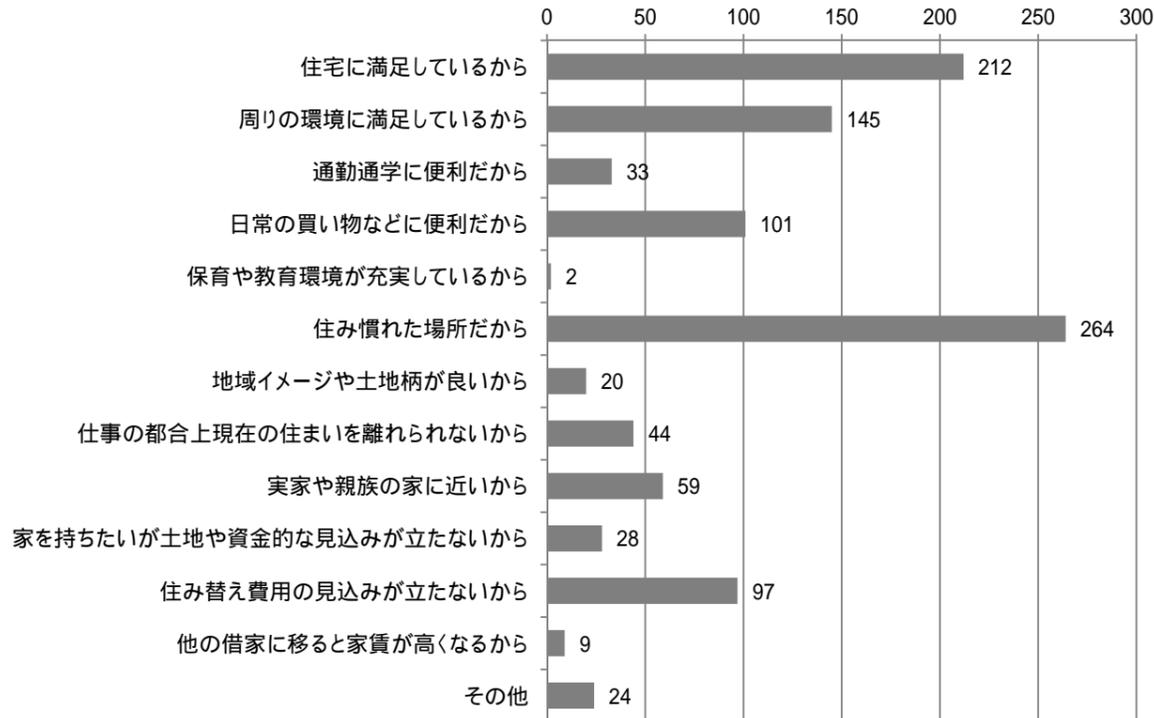


問4-5.建替えや増改築を行う際に, 次のどの取り組みならば対応してもよいと思いますか。(複数回答) n=69

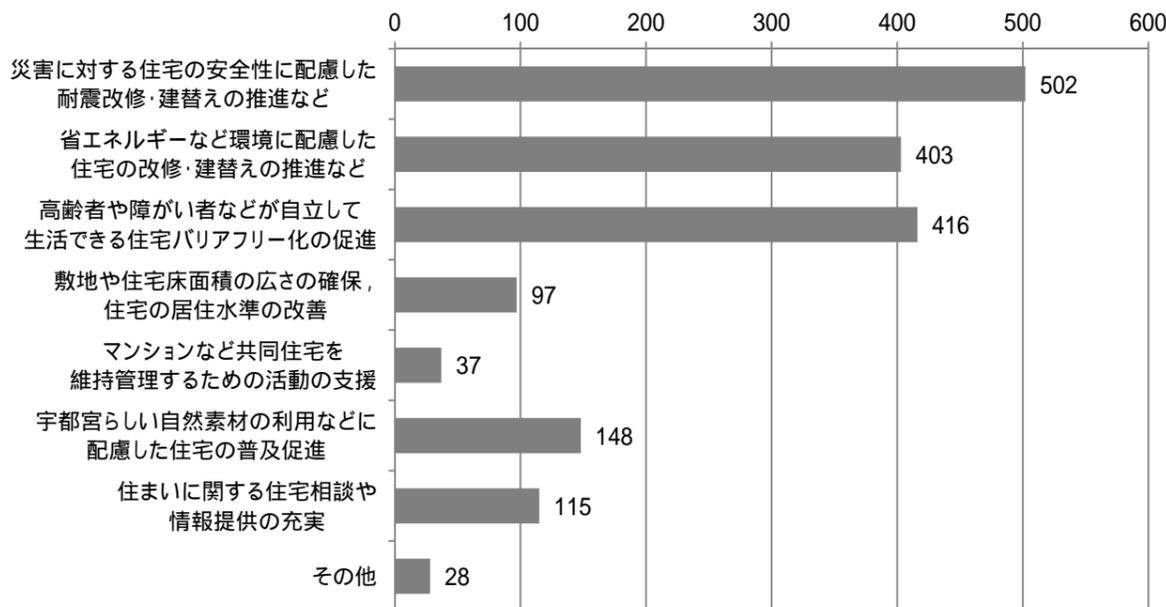


問4-6.「このまま住み続ける」を選択した方)その理由は何ですか。(複数回答)

n=638



問5.今後、宇都宮市が取り組むべき住宅の機能・性能の向上推進策のうち、特に力を入れるべきと思われる項目は何ですか。(複数回答) n=1058



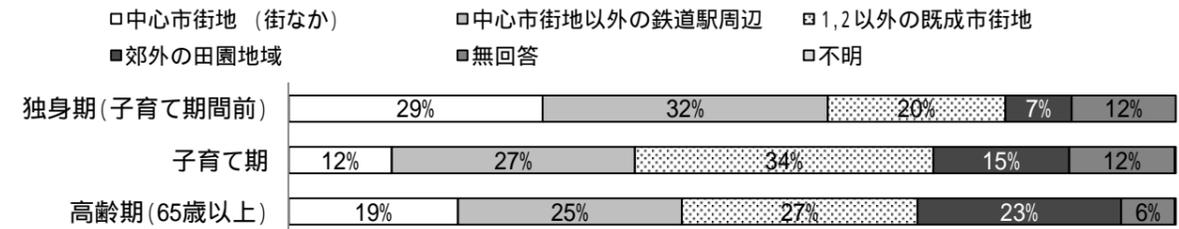
特定テーマに関する設問

ライフステージに応じた住まいの政策について

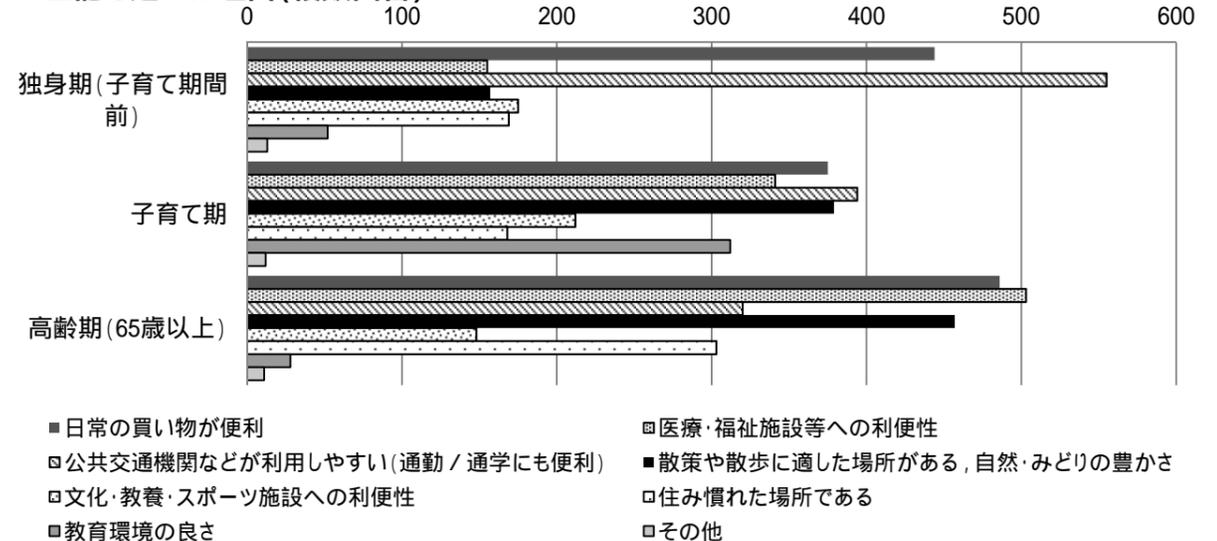
- 独身期は他の時期に比べ、街なか居住や駅周辺の利便性の高い地域に住みたいという意向が大きい。高齢期の方は、郊外の田園地域に住みたいと考える方の割合が最も多い(問6)。
- 年齢を経るにつれ、「医療・福祉施設等への利便性」を重視する方の割合が増え、一方、「公共交通機関などが利用しやすい(通勤/通学に便利)」を重視する方の割合が減少している。また、子育て期には、「教育環境の良さ」を重視する方の割合が最も多い(問6)。
- 「住宅の広さ・間取り」は、子育て期に最も重視されている。また、「手すり設置、段差解消」は年齢を経るにつれ重要と考えている方の割合が増加する。(問6)。
- もし自分が介護が必要となり一人で住めなくなった場合、家族のサポートやサービスを受けてでも自宅での生活を希望する割合が58%を占めている(問7)。
- ライフステージに応じた市の住宅施策として、子育て期には「子育て支援施設・サービスと住宅施策の連携による子育てしやすい環境の整備」を、高齢期には「身体状況に応じて適切な生活支援サービスを利用できる環境の確保」「高齢者向けのサービス付住戸の充実」を重視すべきという回答が多い(問8)。

問6. ライフステージに応じた居住するために必要な機能について伺います。それぞれの人生の段階において、どのような居住地に住みたいとお考えですか。

それぞれの時期に住みたい場所 n=1058

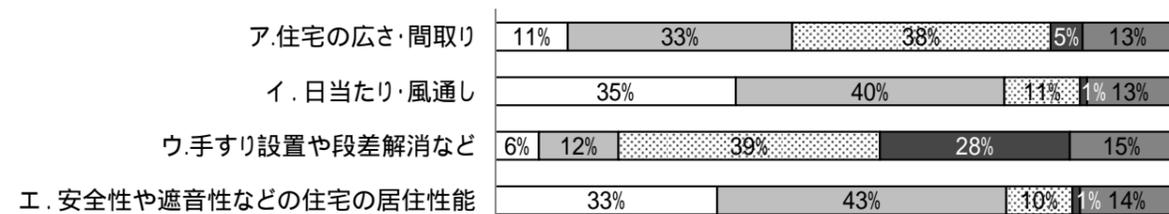


上記を選んだ理由(複数回答) n=1058



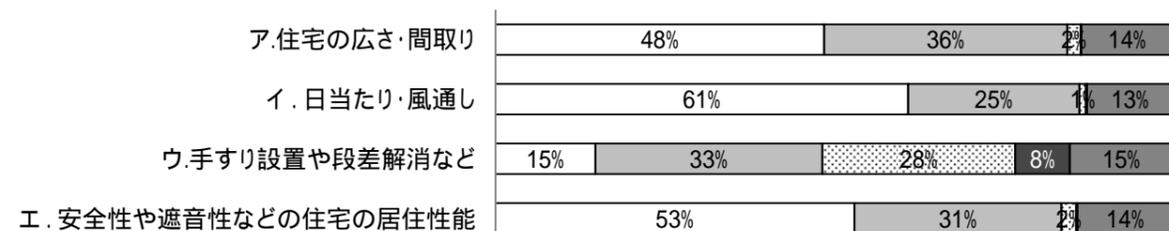
【独身期】n=1058

□重要 □やや重要 □あまり重要でない ■重要でない ■無回答 □不明



【子育て期】n=1058

□重要 □やや重要 □あまり重要でない ■重要でない ■無回答 □不明

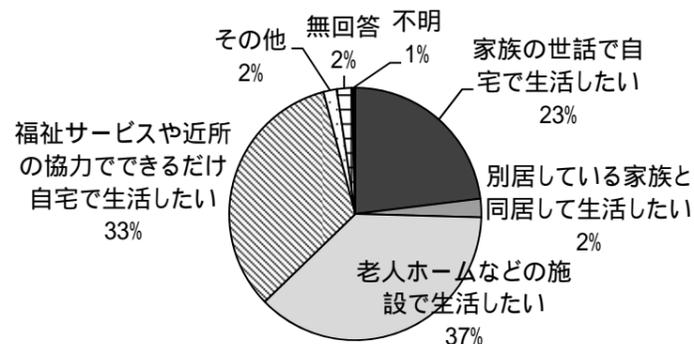


【高齢期】n=1058

□重要 □やや重要 □あまり重要でない ■重要でない ■無回答 □不明

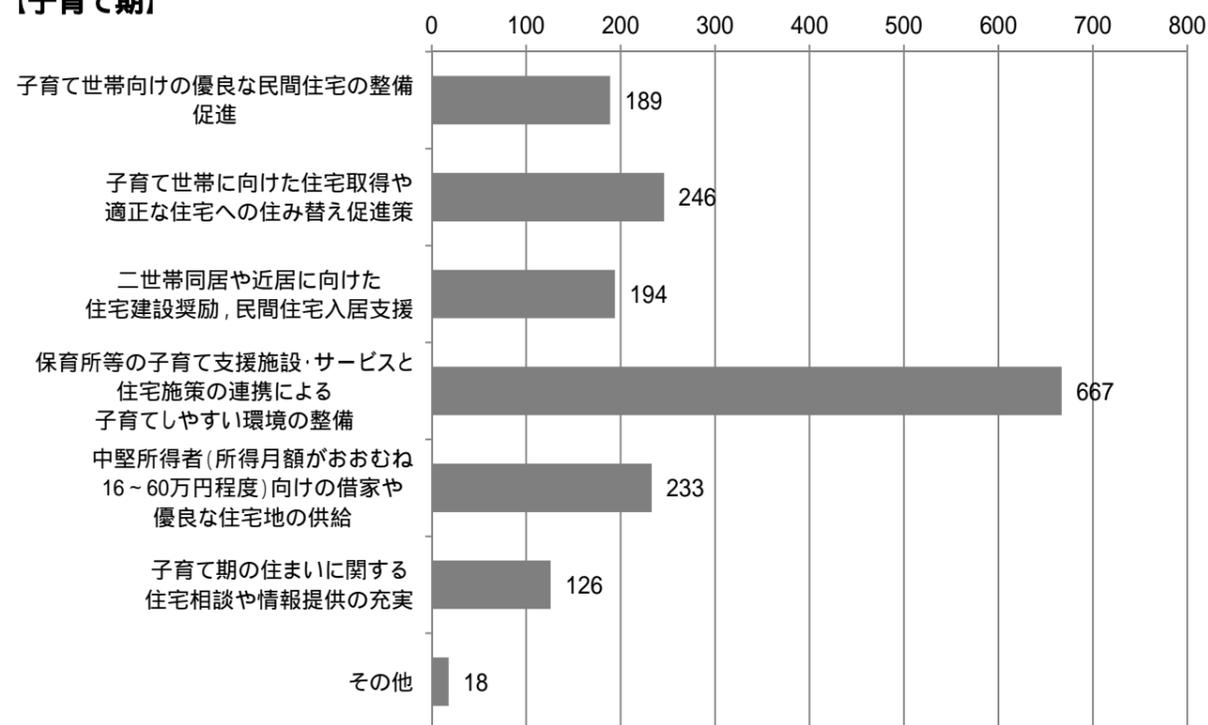


問7.あなたが万が一介護が必要となって自分だけで生活できなくなった場合、どのように暮らしたいと思いますか。n=1058

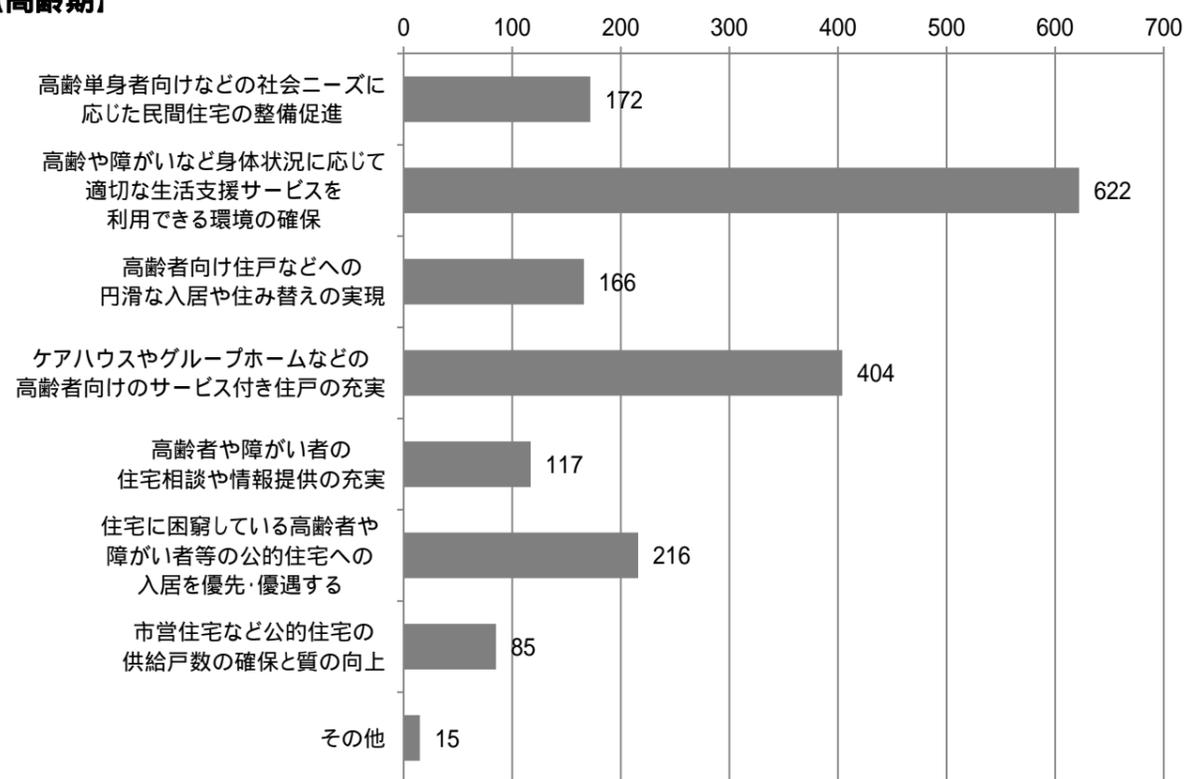


問8.今後、ライフステージに合わせて多くの人が、安心して暮らすためには、市はどのような住宅施策を重視するべきだと思いますか。

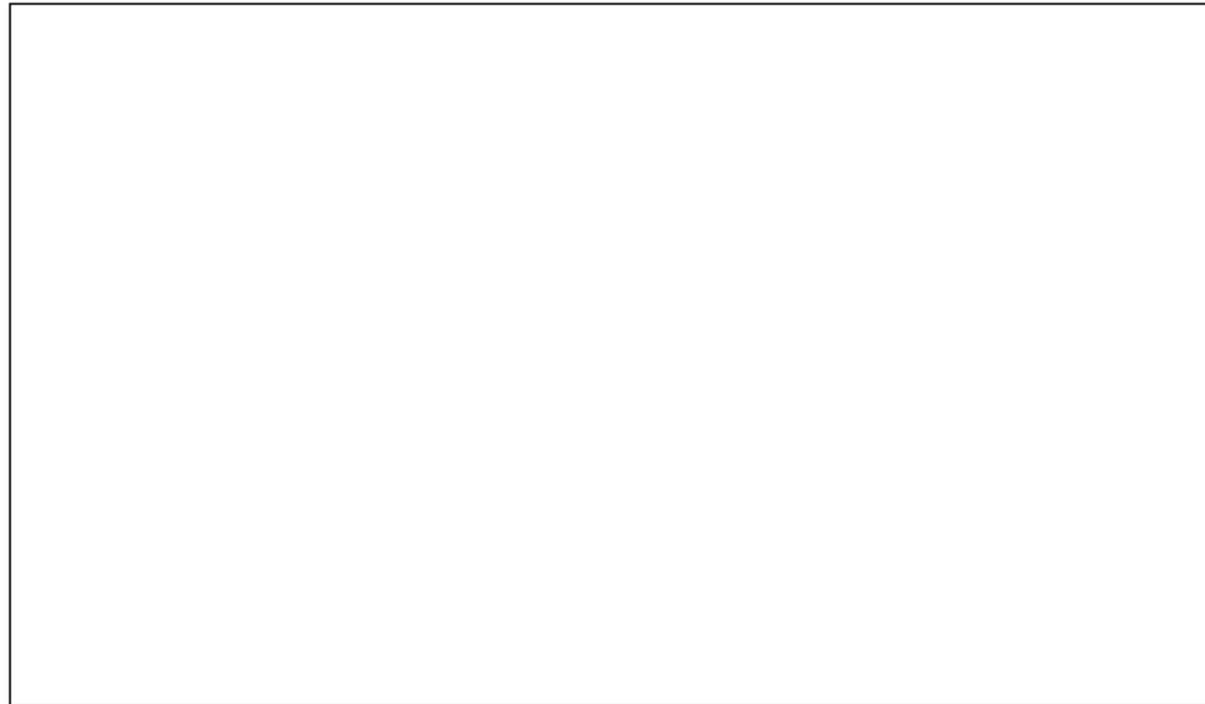
【子育て期】



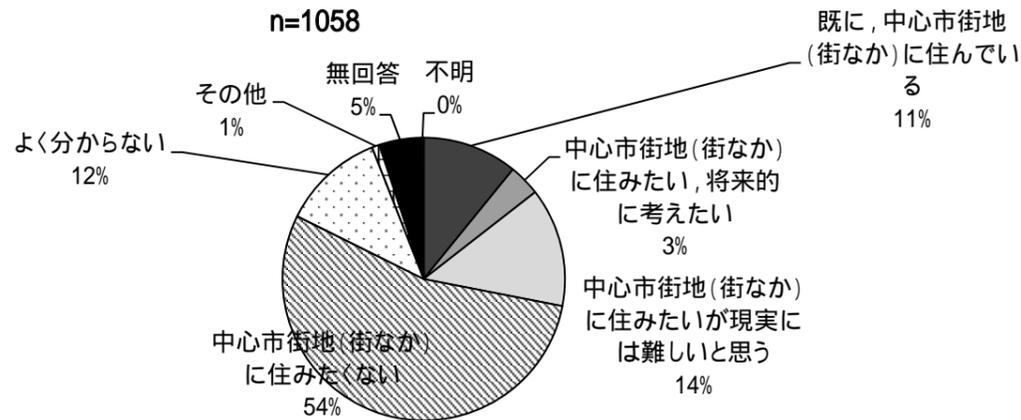
【高齢期】



街なか居住について



問9.中心市街地(街なか)への居住について、あなたはどうお考えですか。



<参考:街なか居住の重要性に関する市民の認識>

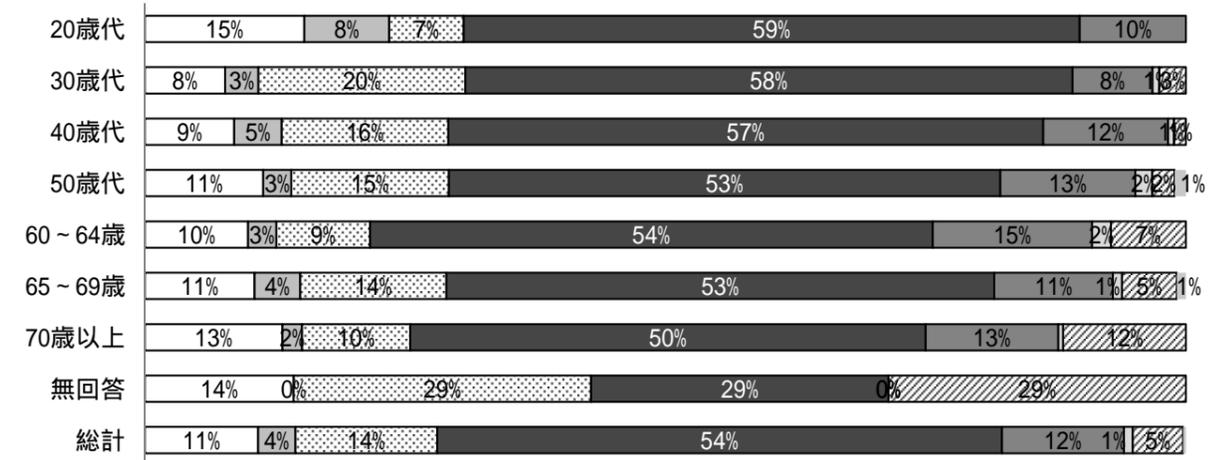
今回のアンケートでは、中心市街地(街なか)に住みたいという回答は17%であったが、平成24年3月の市民アンケートでは、以下のような結果が得られている。

- 「コンパクトなまちづくりが重要である」と約7割(68%)の人が認識している。
- その理由として、「高齢者など車を自由に利用できない人でも気軽に外出できる」が51%と最も多く、次いで「中心市街地が昔ながらの賑わいを取り戻せる」が23%、「昔のようにみんなで集まって助け合いながら生活することができる」が13%の順となっている。

(資料:平成24年3月「第5次宇都宮市総合計画基本計画改定に係る基礎調査業報告書」)

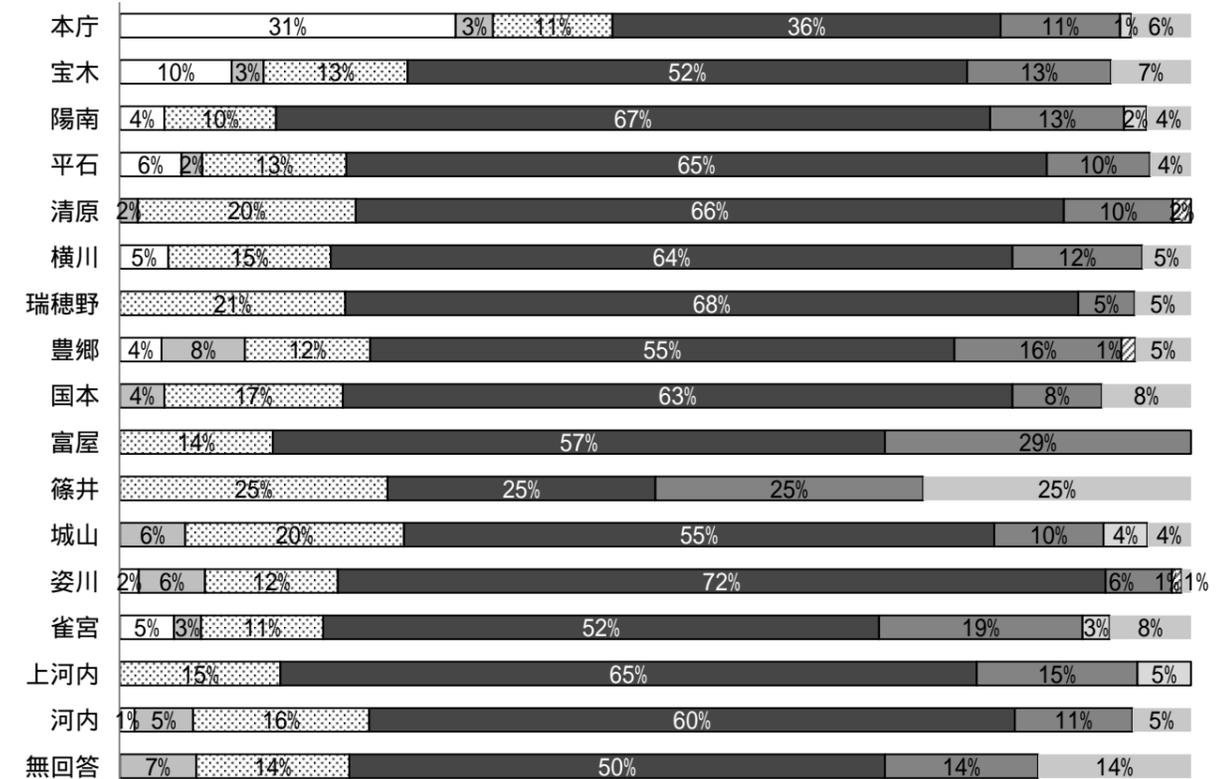
【年齢別】街なか居住への意向 n=1058

- 既に中心市街地(街なか)に住んでいる
- 中心市街地(街なか)に住みたいが現実には難しいと思う
- よく分からない
- 無回答
- 中心市街地(街なか)に住みたい、将来的に考えたい
- 中心市街地(街なか)に住みたくない
- その他
- 無効



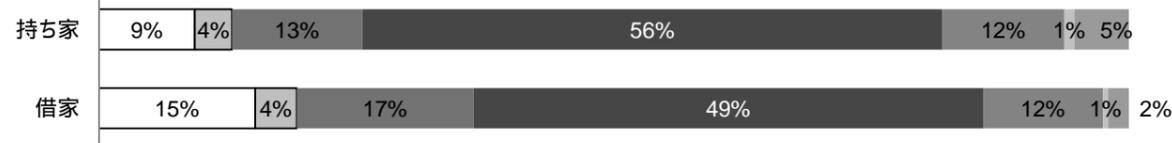
【地区別】街なか居住への意向 n=1058

- 既に中心市街地(街なか)に住んでいる
- 中心市街地(街なか)に住みたいが現実には難しいと思う
- よく分からない
- 無効
- 中心市街地(街なか)に住みたい、将来的に考えたい
- 中心市街地(街なか)に住みたくない
- その他
- 無回答



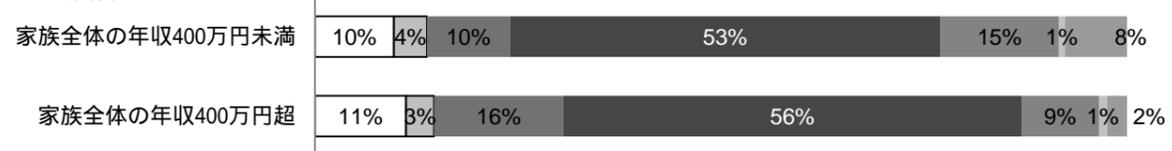
**【持ち家/借家】街なか居住への意向**

- 既に中心市街地(街なか)に住んでいる
- 中心市街地(街なか)に住みたいが現実には難しいと思う
- よく分からない
- 無回答
- 中心市街地(街なか)に住みたい, 将来的に考えたい
- 中心市街地(街なか)に住みたくない
- その他



**【年収別】街なか居住への意向**

- 既に中心市街地(街なか)に住んでいる
- 中心市街地(街なか)に住みたいが現実には難しいと思う
- よく分からない
- 無回答
- 中心市街地(街なか)に住みたい, 将来的に考えたい
- 中心市街地(街なか)に住みたくない
- その他



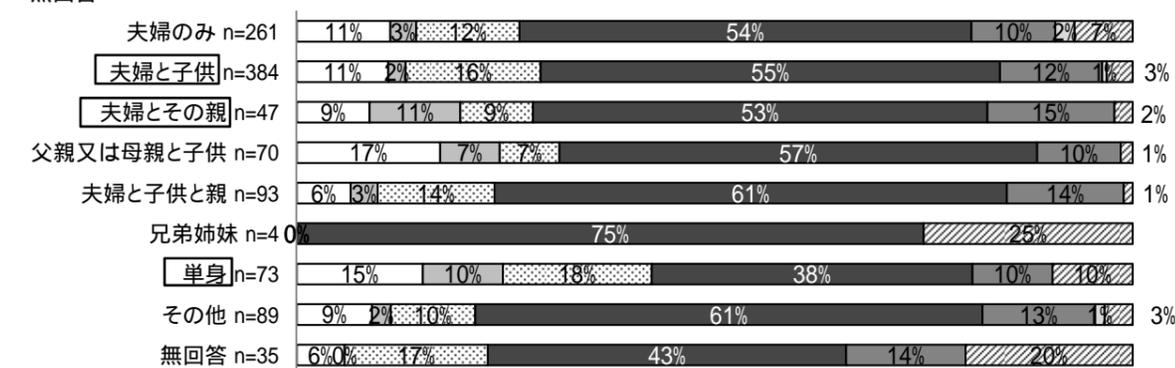
**【年収別】街なか居住への意向**

- 既に中心市街地(街なか)に住んでいる
- 中心市街地(街なか)に住みたいが現実には難しいと思う
- よく分からない
- 無回答
- 中心市街地(街なか)に住みたい, 将来的に考えたい
- 中心市街地(街なか)に住みたくない
- その他



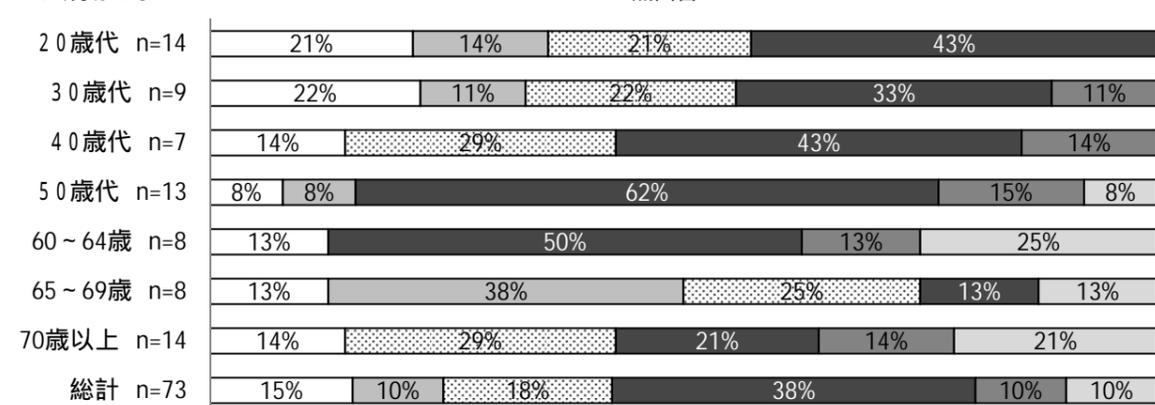
**【同居家族別】街なか居住への意向**

- 既に中心市街地(街なか)に住んでいる
- 中心市街地(街なか)に住みたいが現実には難しいと思う
- よく分からない
- 無回答
- 中心市街地(街なか)に住みたい, 将来的に考えたい
- 中心市街地(街なか)に住みたくない
- その他

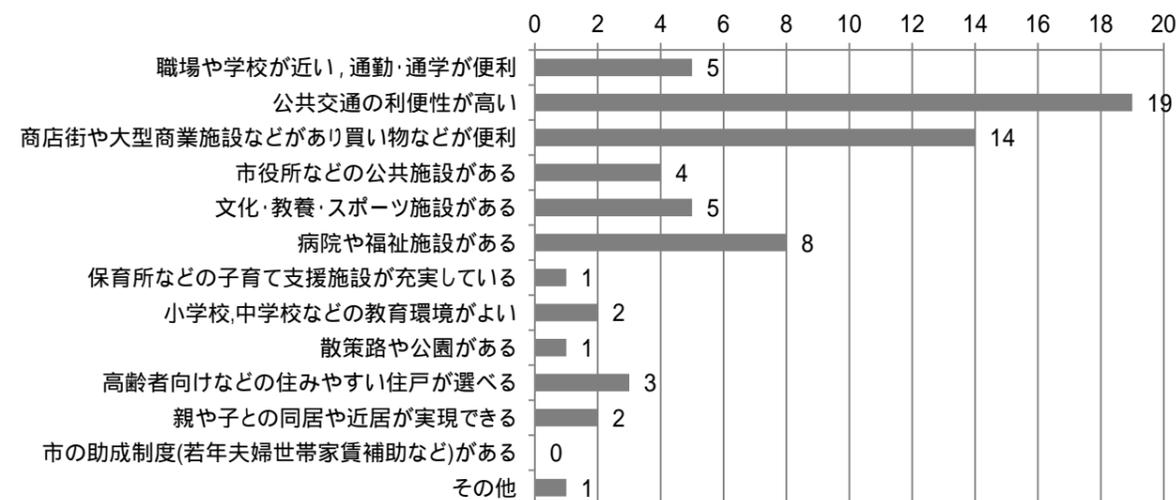


**【単身/年齢別】街なか居住への意向**

- 既に中心市街地(街なか)に住んでいる
- 中心市街地(街なか)に住みたいが現実には難しいと思う
- よく分からない
- 無回答
- 中心市街地(街なか)に住みたい, 将来的に考えたい
- 中心市街地(街なか)に住みたくない
- その他

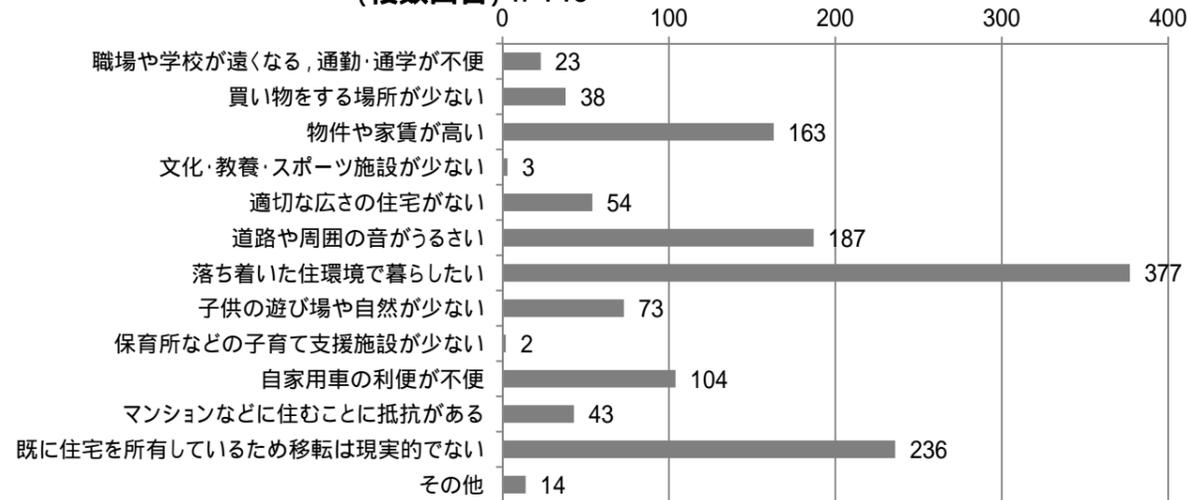


**問9-1.街なかに住みたいと思う理由は何ですか。(複数回答) n=38**



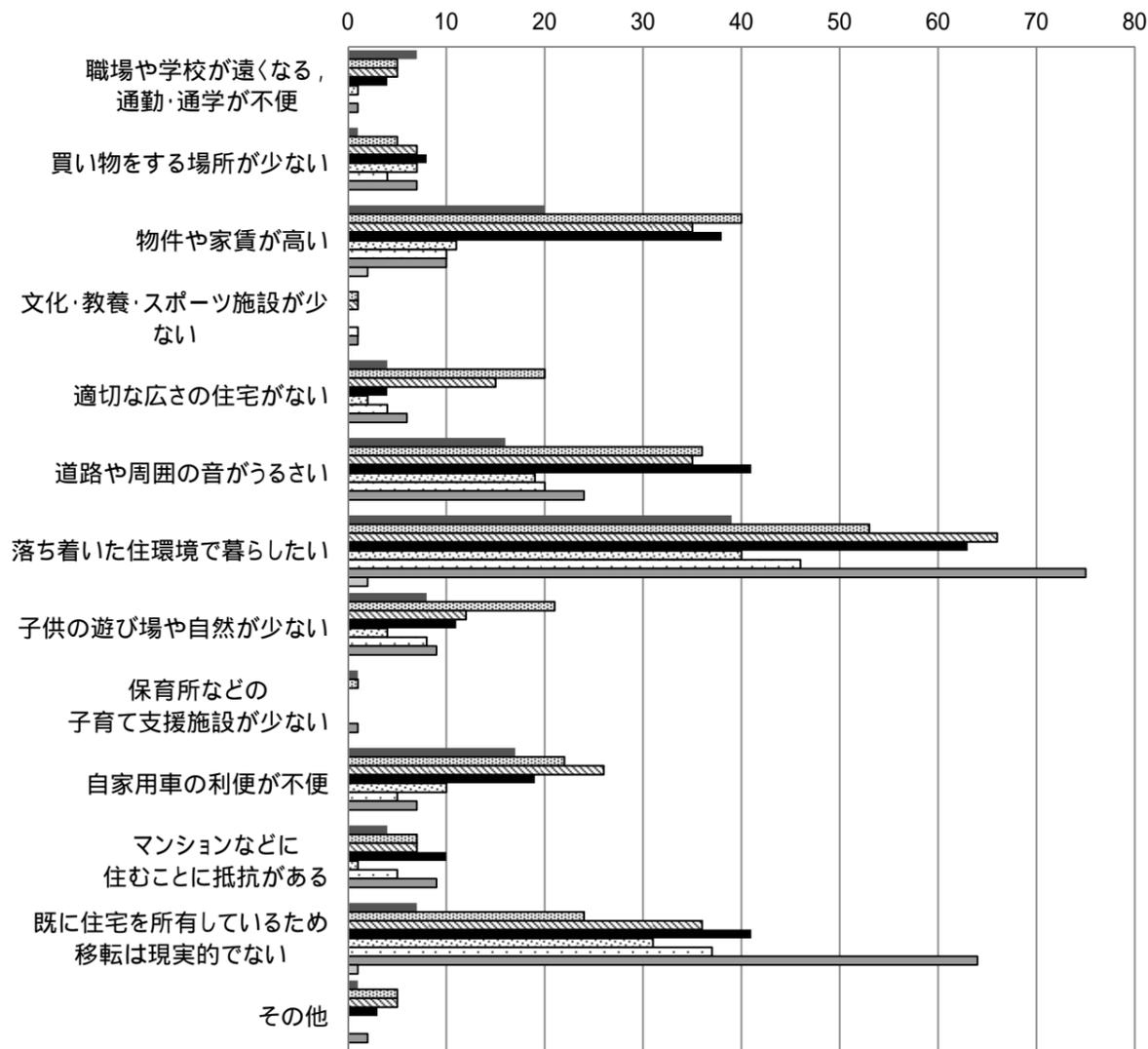
問9-2.街なかに住みたいが困難又は住みたくないと思う理由は何ですか。

(複数回答) n=718



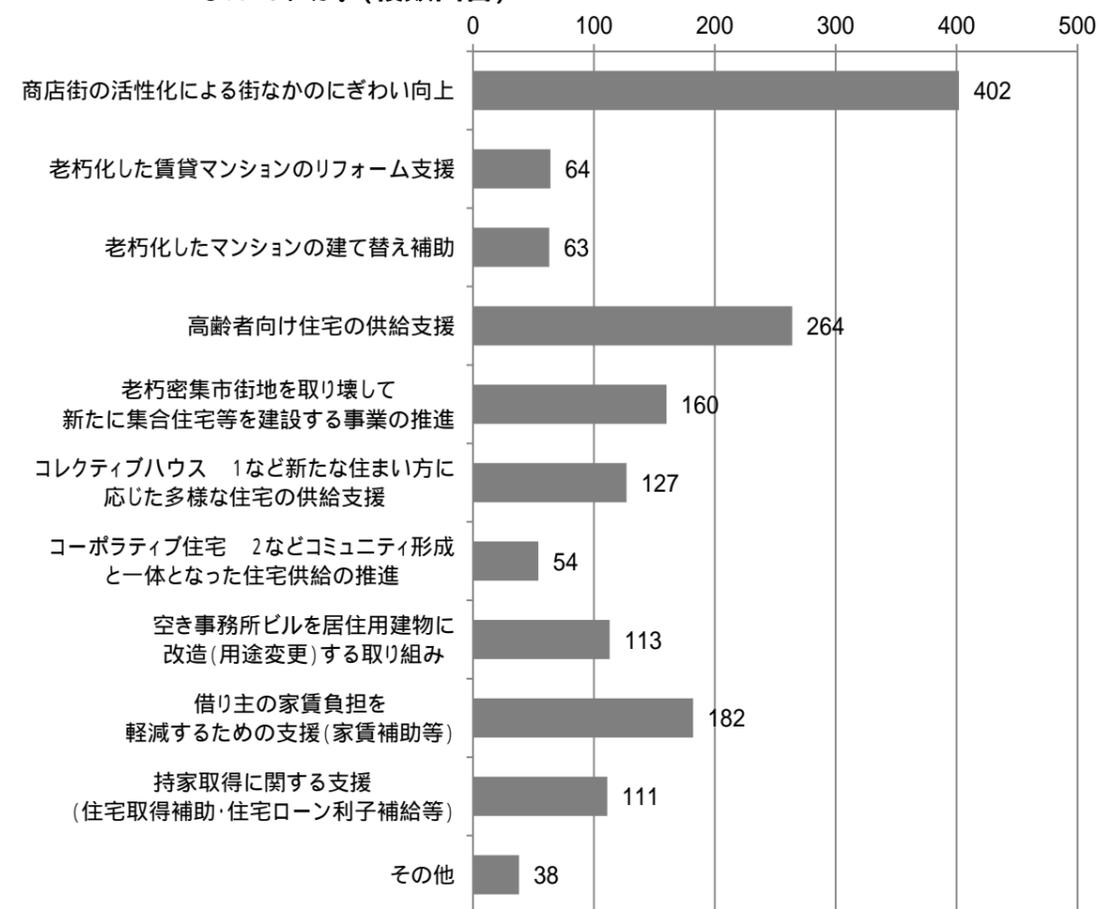
【年代別】街なかに住みたいが困難 又は 住みたくない理由

■20歳代 □30歳代 □40歳代 ■50歳代 □60～64歳 □65～69歳 □70歳以上 □無回答

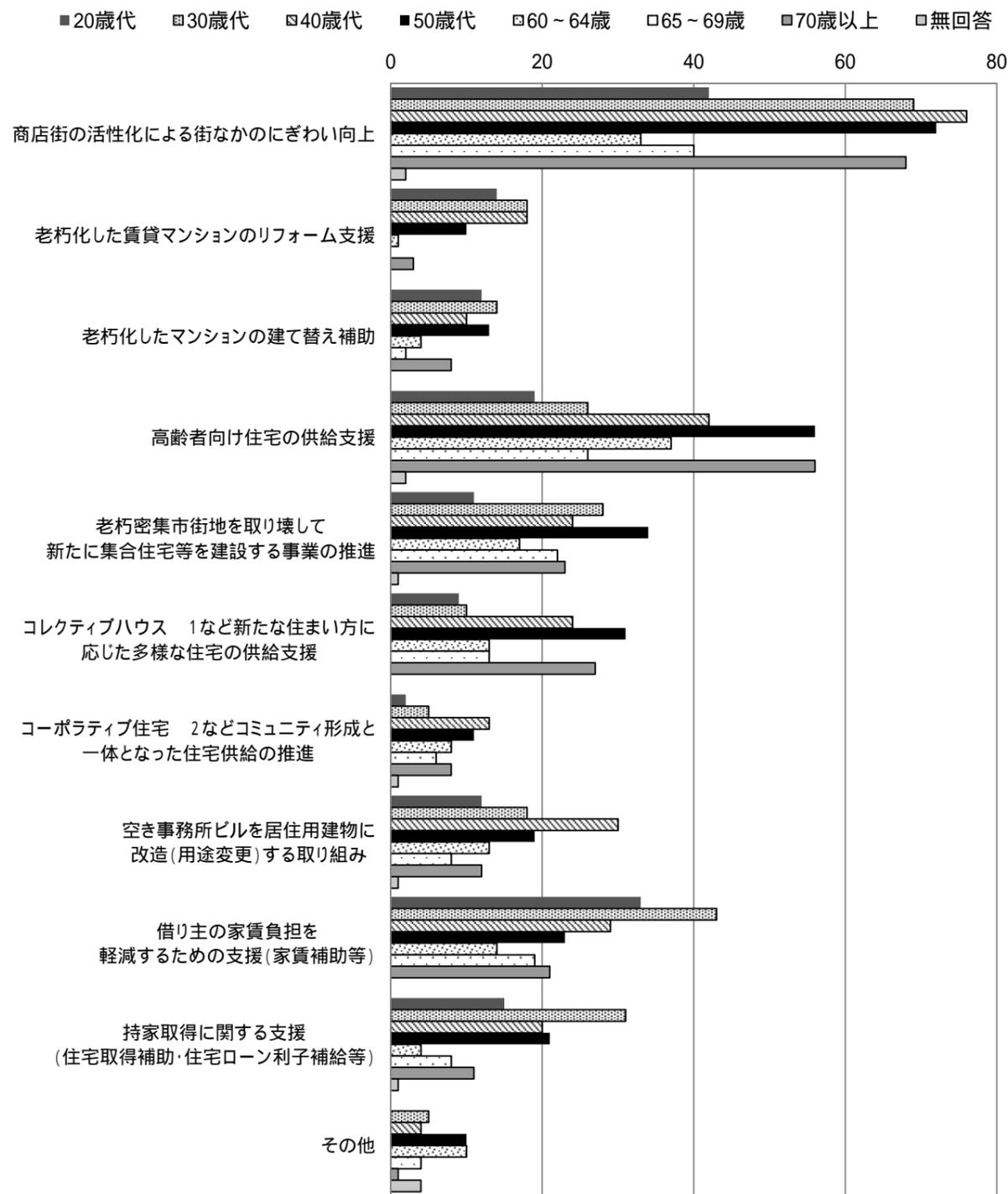


問10.中心市街地(街なか)居住を進めるために効果的だと思われる施策は

なんですか。(複数回答)n=718



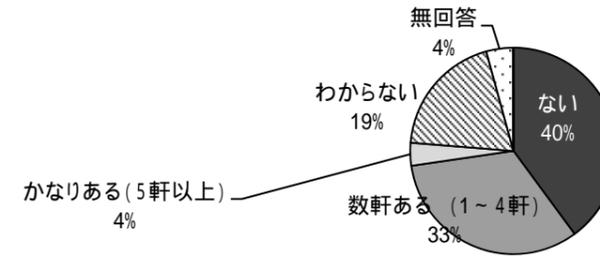
**【年代別】街なか居住を進めるために効果的と思う施策**



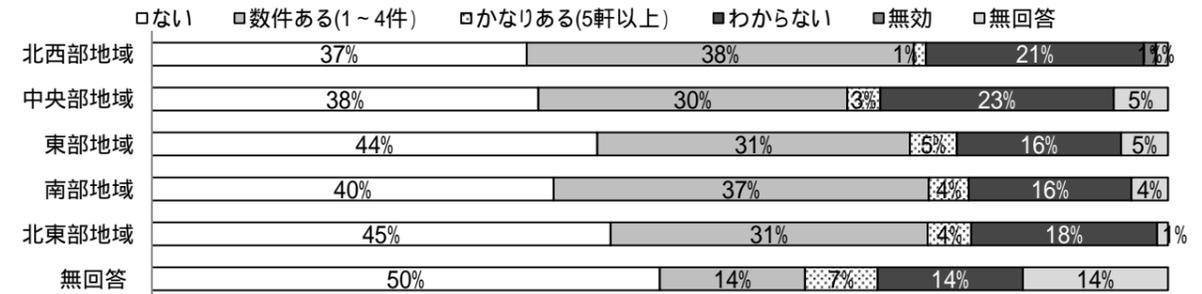
**空き家の活用について**

- 37%が空き家を認識している。地域別では、南部地域が最も多く41%の方が空き家を認識している(問11)。
- 空き家対策として、「所有者が管理しきれない空き家等の公有地化」「空き家バンクによる空き家の活用促進のための情報整備」「取り壊し費用の補助」等が、宇都宮市でも効果的な施策であるという回答が多かった(問12)。

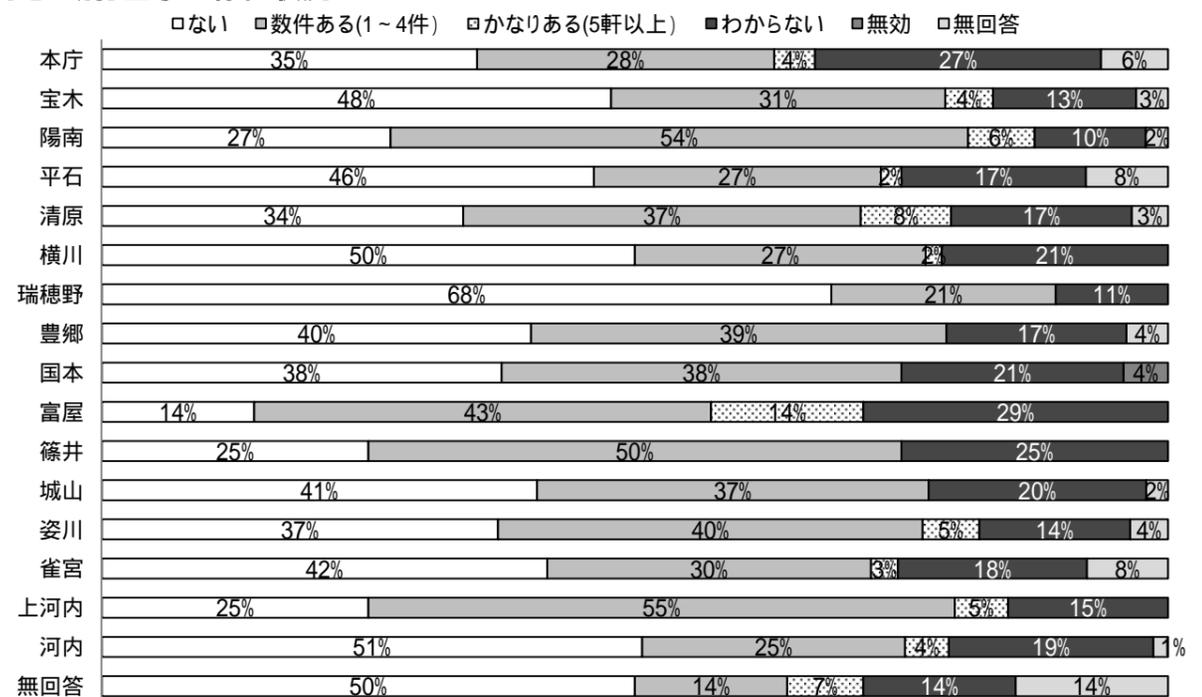
**問11.あなたがお住まいのご近所で空き家(住宅)はありますか。n=1058**



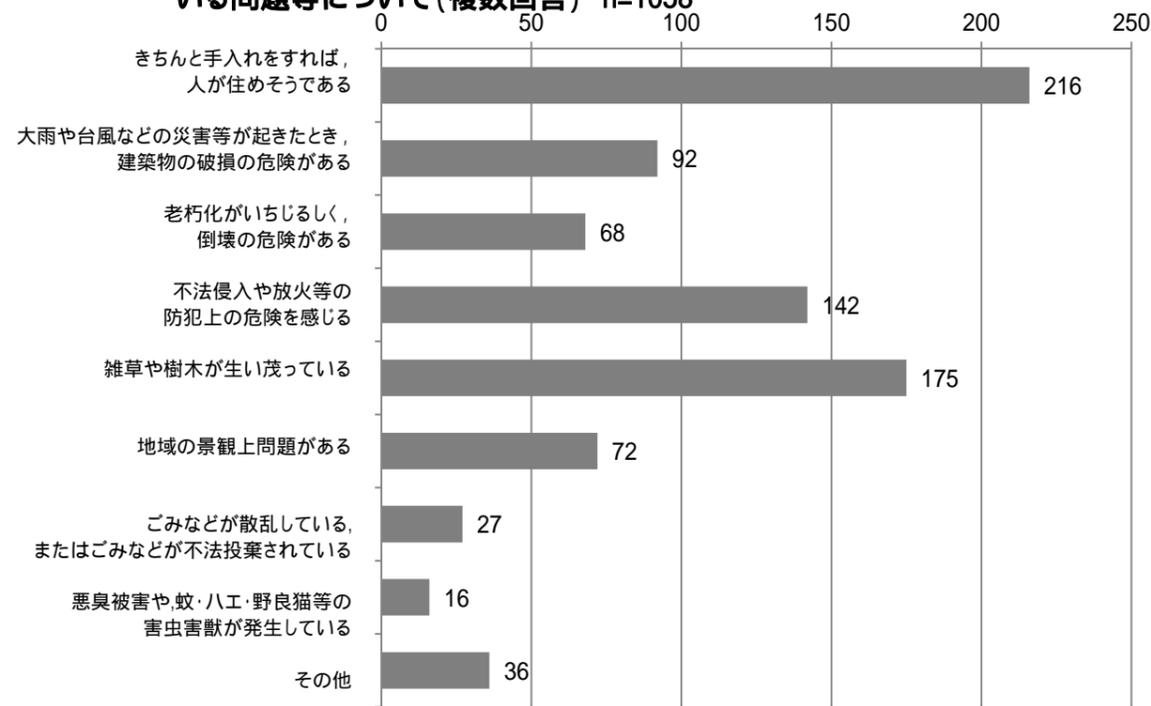
**【地域別】空家の存在状況 n=1058**



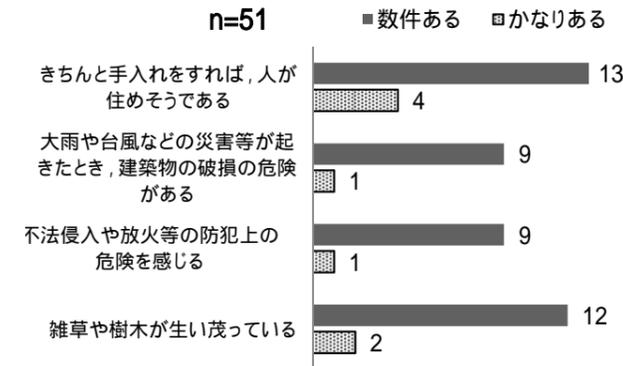
**【地区別】空家の存在状況 n=1058**



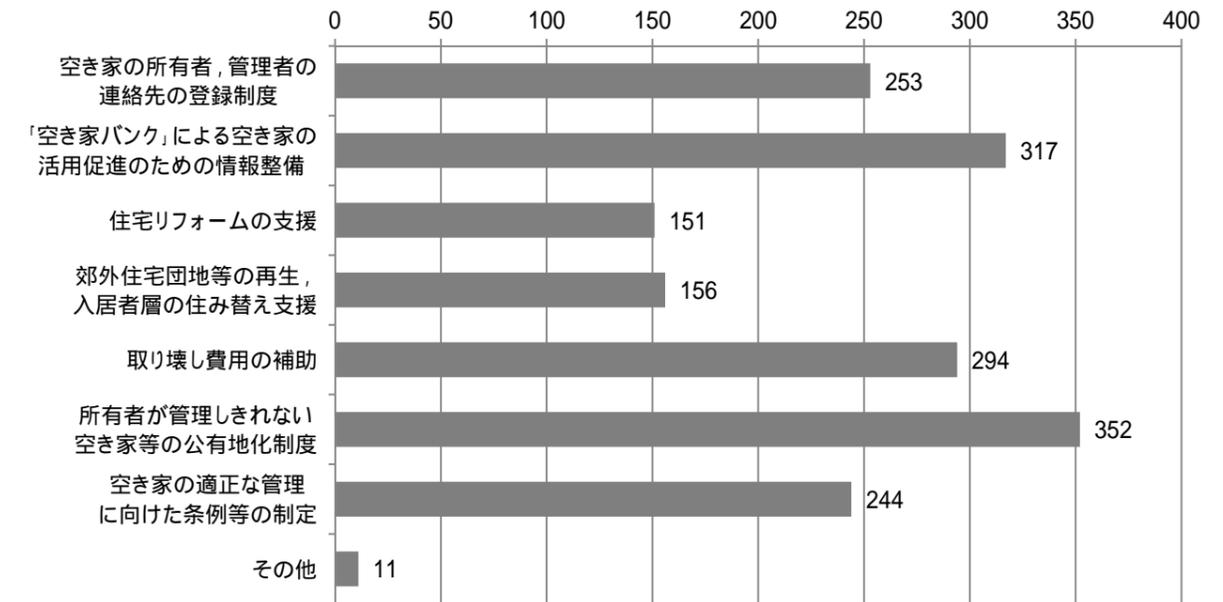
問11-1.あなたが思いつく範囲で、ご近所の空き家の状況やあなたが感じている問題等について(複数回答) n=1058



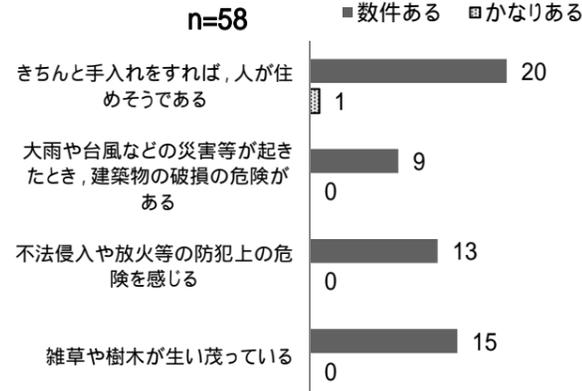
【北東部】空き家状況と問題意識 n=51



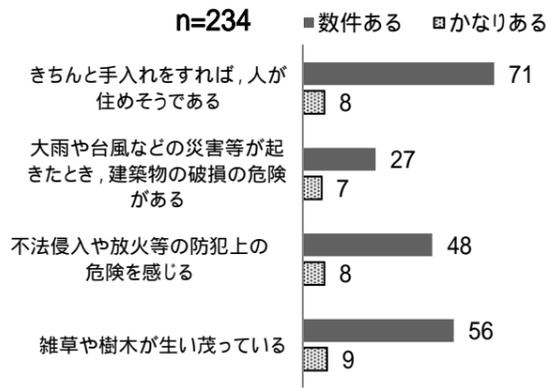
問12.現在、全国各地で空き家(住宅)に関する問題の解決に向けて、以下のような施策が取り組まれています。あなたが宇都宮市でも効果的だと思う施策について(複数回答) n=1058



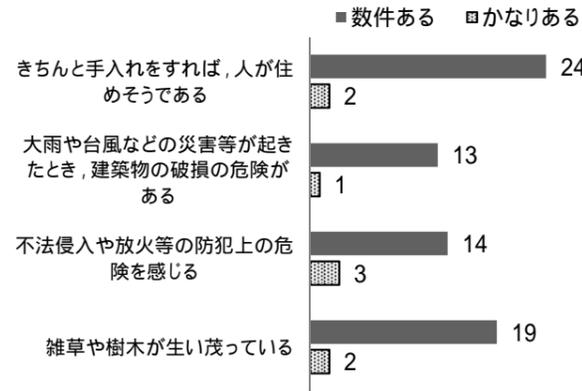
【北西部】空き家状況と問題意識 n=58



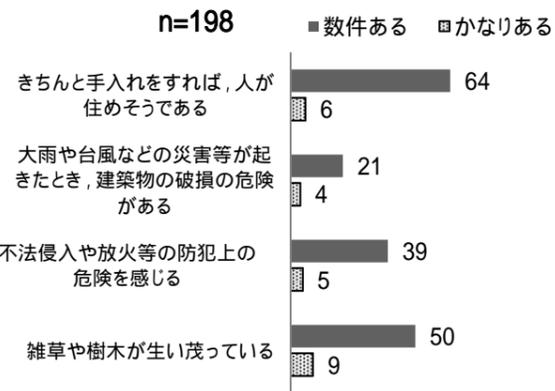
【中央部】空き家状況と問題意識 n=234



【東部】空き家状況と問題意識 n=52



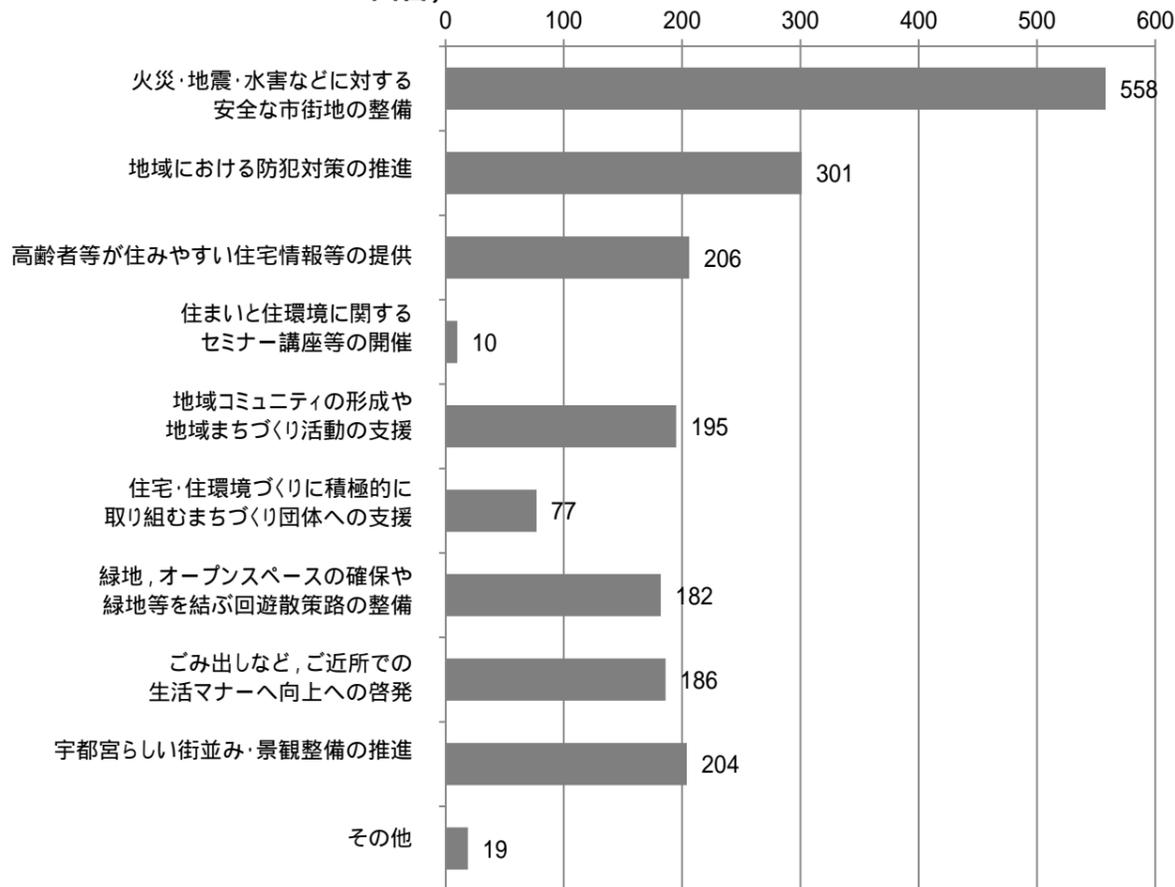
【南部】空き家状況と問題意識 n=198



まちづくりとの連携施策などについて

- まちづくりとの連携による住環境や住まいづくりの取り組みとして、「火災・地震・水害などに対する安全な市街地の整備」「地域における防犯対策の推進」等が重要であると考えられている（問13）。

問13.地域のまちづくりやコミュニティ形成とともに取り組む住環境や住まいづくりの取り組みについて、あなたが特に重要だと思う項目について(複数回答) n=1058



<主な自由回答>

空き家の増加

- ・ JR宇都宮駅東側市街地の開発が進む一方、西側市街地が、空屋も目立ち、活気がなく、寂しい感じです。
- ・ 少子高齢化は増々進んでいくと思う。それに伴い、老朽化した空家は増化する。
- ・ 現在マンション等空屋が多く目立ちます。古い家もありますがなんでなんかわからないですけど目立ちます。
- ・ 空き家の所有者の管理しきれない空き家等の公有地化制度や管理に向けた条例等の制定早急をお願い致します。理由例（不法侵入や放火等防犯上の危険を感じる）
- ・ 我が緑が丘地区等散歩してみると、あちこちに売家（空家）が見受けられます。

公共交通機関の利用促進

- ・ 公共交通機関を充実してほしい。加齢と共に運転が出来なくなった時に必要。
- ・ これから自分で運転ができなくなった時、バス停までの移動（歩いて行く事）が大変
- ・ 車社会から路面電車（公共モビリティ/バス以外）へのシフトで、市民の利便性とエコロジーを実現してほしい。
- ・ LRTを走らせて、環境保全CO2削減に貢献する街づくりをぜひ進めてください。
- ・ 車がないと、なかなか出掛けられないところにショッピングセンターがあったりするので、もっと他の交通手段があると良いのになあと思う。

歩行者の安全性確保

- ・ 車だけではなく自転車や歩行者の安全確保も必要。
- ・ 通学路に指定してあるのに歩道がない。
- ・ 車社会が急速に進んでいくなか、街としてメイン道路の整備は大きな課題と思われませんが、交通弱者である歩行者や自転車、そして買い物弱者である老人の手押し車が安全に通れる道路の確保と舗装など。

街なか居住について

- ・ 街なかに住みたい人は多いと思う。土地を購入したい人と売却したい人のマッチングについて、行政が手伝ってくればよいと思う。
- ・ 街なかにマンションなどの集合住宅をもっとたくさん建てれば市街地をもっと活性化するのではないだろうか。